

さわやかな世界をつくる



新菱冷熱

shinryo.com

新菱冷熱
CSRLレポート
2016



社会の持続的発展に貢献する 環境エンジニアリング企業へ

新菱冷熱・新菱グループは、
社会と人と環境に誠実な事業活動を通じて、
CSR活動を推進し、
社会の持続的発展に貢献していきます。

代表取締役社長

加賀美 猛

創立60周年を迎えて

新菱冷熱の創業者 加賀美 勝は当時、「きまじめな技術者によって運営できる会社を夢見て業を興した。私はこの会社に、技術に対する愛情と夢とロマンをかけた」と話しています。この思いから始まった新菱冷熱は、お客様のご支援と、創業者の魂を受け継いできた社員の団結と努力によって、創立60周年を迎えることができました。すべてのステークホルダーの皆様にご心より感謝申し上げます。

われわれは、60年の歴史に甘んずることなく、これからもフロンティア・スピリットをもつ挑戦者でありたいと考えています。そして、一人ひとりがあらん限りの誠実を尽くす。その姿勢がお客様の信頼につながっていき、社員一人ひとりの在り方が、新菱冷熱の価値を決めていくものだと考えています。本レポートでは、新菱冷熱を知っていただくため、60年の歴史を振り返っています。

また、創立60周年を機に新菱冷熱は、経営ビジョン「さわやかな世界をつくる」をあらためて整えることにいたしました。「さわやかな世界をつくる」は、企業としての思いであり、ステークホルダーの皆様へのメッセージです。このメッセージをより分かりやすくするために、ブランドプロミス(新菱冷熱の約束)をまとめました。このブランドプロミスを通じ、新菱冷熱の思いを、よりご理解いただければ幸いです。

創造への挑戦により、成長し続ける

今年度は、中期計画「第13次3ヵ年計画(第62期～第64期:2016年10月～2019年9月)」の策定を進めてまいりました。新菱冷熱・新菱グループを取り巻く概況には、この先の国内建設市場の停滞と縮小傾向や建設業の人手不足への対応、海外事業における競争の激化など、多くの課題があります。そのような中、第13次3ヵ年計画は、10年後の新菱グループの成長を見据え、これらの課題に正面から取り組む内容といたしました。

われわれが目指していく姿、すなわち3ヵ年ビジョンは、「創造への挑戦により、成長し続ける環境エンジニアリング企業」と決めました。ビジョンの実現は、課題を乗り越えた先に

「さわやかな世界をつくる」

- Brand Promise -

私たちは「さわやかな世界をつくる」ことを目指し、新たな価値の創出に挑戦します。

「さわやかな」

さわやかな風のような、人と自然にとって理想的な環境をつくります。

さわやかで気持ちの良い、誠実な対応で信頼を築きます。

さわやかで風通しの良い、創造性に富んだ社風をつくります。

「世界をつくる」

環境技術による地球環境の保全を通じて、持続可能な世界をつくります。

創造的な技術をグローバルに提供し、新たな可能性に満ちた世界をつくります。

透明性の高い健全な経営で、私たちが誇れる世界をつくります。

これが、私たち新菱冷熱の約束です。

あります。そのためには、“挑戦すること”が重要です。新菱冷熱は、挑戦によって、ビジョンの実現を目指していきます。

また、ビジョンを実現するために、取り組む施策の一つには、後述する「働き方改革」があります。多様な人材が生き生きと輝き、活躍できる職場であり続けるために、われわれは挑戦を続けていきます。

自社ビル省エネeco化プロジェクト

新菱冷熱では、1970年に竣工した自社ビル（東京都新宿区）を省エネビルへと改修するプロジェクト「新菱冷熱自社ビル省エネeco化プロジェクト（2012～2016年度）」に取り組んできました。省エネeco化プロジェクトでは、さまざまな省エネルギー技術を用いたエコ改修に取り組み、プロジェクトの最終年度におけるエネルギー削減目標を40%、CO₂排出量の削減目標は37%（2009年度比）と決めました。

継続的な省エネルギー対策と運用改善に取り組んだ結果、計画より1年早く、改修後の4年目で目標を達成することができました。省エネルギー技術への努力は、環境貢献への努力です。プロジェクトの概要と成果については、特集1でご報告いたします。

環境と品質、安全衛生への取り組み

今年度のレポートには、環境への取り組み（環境マネジメントシステム ISO14001）と品質への取り組み（品質マネジメントシステム ISO9001）について、詳しい活動を掲載しました。とくに、環境マネジメントシステムは、2001年に認証を取得してから、CO₂排出量の削減、石綿対策、産業廃棄物の適正処理、フロン類の回収など、環境配慮の基本的な活動を続けているものです。

また、新菱冷熱が創業以来、重視している現場の安全衛生管理についても掲載しています。新菱冷熱の安全衛生基本方針「安全なくして作業なし 安全なくして企業なし」のもと、労働災害を防止するための全社一丸の取り組みについてご報告いたします。

働き方改革の第一歩

新菱冷熱が目指す働き方改革は、長時間労働の是正とワークライフバランスの実現です。これらの実現に向けて、今年度は働き方改革に着手しました。2016年4月には、働き方改革担当役員が就任し、まずはノー残業デーの実施を開始しました。事業所だけの実施ではなく、推進モデルとなる施工現場を選び、週1回は残業せずに帰社する取り組みを推進しています。また、部長職以上の役職員から働き方に関する意識を変えていくことが必要だと考え、外部講師による講義を実施しました。

ほかにも、社員の心身を支援するしくみ、ダイバーシティの推進など、さまざまな取り組みを組み合わせ、働き方を改革してまいります。

ステークホルダーの皆様へ

新菱冷熱は、国連が提唱する「国連グローバル・コンパクト」への参加を表明し、2014年度において参加企業として登録されました。人権・労働・環境・腐敗防止に関わる10原則を支持し、国際的にも社会的責任活動を推進していきます。環境エンジニアリング企業として、国際社会の信頼に応え、社会からの要請に自発的・積極的に取り組み、地球環境の保全と社会の持続的発展に貢献していきます。

また、創立60周年を迎えた新菱冷熱のCSR活動は、社会的責任を果たすだけでなく、中期計画と連動しながら、企業の価値を高める活動として推進してまいります。

今後とも、皆様のご意見を反映しつつ、継続的に取り組んでまいりますので、ご支援ご指導いただきますよう、お願い申し上げます。

○国連グローバル・コンパクトへの参画

2014年9月、新菱冷熱は、国連が提唱する国連グローバル・コンパクトに署名・参加しました。新菱冷熱は、国連グローバル・コンパクトにおける4分野10原則に沿った事業活動を推進していきます。

国連グローバル・コンパクトの趣旨に賛同する気持ちだけでなく、海外での技術提供にも力を注ぐ新菱冷熱にとって、国連グローバル・コンパクトへの参画は、国際社会から信頼される企業に成長したいという気持ちの表明でもあります。経営ビジョンである、「さわやかな世界をつくる」ための活動は、世界に向けた活動にしたいと考えています。



国連グローバル・コンパクトの10原則

●人権	原則1	企業は、国際的に宣言されている人権の保護を支持、尊重し、
	原則2	自らが人権侵害に加担しないよう確保すべきである。
●労働	原則3	企業は、結社の自由と団体交渉の実効的な承認を支持し、
	原則4	あらゆる形態の強制労働の撤廃を支持し、
	原則5	児童労働の実効的な廃止を支持し、
	原則6	雇用と職業における差別の撤廃を支持すべきである。
●環境	原則7	企業は、環境上の課題に対する予防原則的アプローチを支持し、
	原則8	環境に関するより大きな責任を率先して引き受け、
	原則9	環境に優しい技術の開発と普及を奨励すべきである。
●腐敗防止	原則10	企業は、強要と贈収賄を含むあらゆる形態の腐敗の防止に取り組むべきである。

○GCNJの環境経営分科会への参加

国連グローバル・コンパクトのローカルネットワークであるGCNJ^{*}の環境経営分科会に参加しています。企業の事業活動に密接に関連する環境課題に関して、専門家による講義や参加企業による環境経営事例の紹介などを実施する会です。新菱冷熱の活動を環境経営に発展させるため、分科会を通じて先進的な情報や知識を学んでいきます。

^{*}グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン

目次

トップメッセージ	1
目次／編集方針	4

新菱冷熱の60年

「さわやかな世界をつくる」ことを目指した 新菱冷熱の60年	5
----------------------------------	---

特集

特集1

新菱冷熱自社ビル 省エネeco化プロジェクト	7
---------------------------	---

特集2

事業活動ハイライト	11
-----------	----

会社案内

会社概要／主な事業内容／業績の推移	13
組織図	14
新菱グループネットワーク	15
施工実績	17

CSRマネジメント

CSR推進体系／新菱冷熱CSR宣言／CSR推進体制	19
CSR重点課題と基本テーマ／CSR活動のPDCA	20
新菱冷熱の活動成果	21

CSR活動トピックス

組織統治	23
公正な事業慣行	25
環境への取り組み	27
消費者課題	31
人権／労働慣行	33
教育／人材育成	37
コミュニティへの参画および発展	39

グループ会社

グループ会社のCSR活動	41
--------------	----

○編集方針

新菱冷熱およびグループ会社のCSR(企業の社会的責任)への取り組みについて、ステークホルダーの皆様にご理解を深めていただける報告書を目指しています。

○対象期間

2016年度(2015年10月1日～2016年9月30日)を中心にし、一部にはその前後を含みます。

○報告対象範囲

新菱冷熱工業(株)および新菱グループの各社におけるCSR活動について報告しています。

○参考にしたガイドラインや規格

- ISO26000
- GRI (Global Reporting Initiative)
サステナビリティ レポーティングガイドライン 第4版

○発行年月

今回:2016年12月 次回:2017年12月(予定)

○発行責任部署および連絡先

新菱冷熱工業株式会社
CSR推進室
TEL 03-3357-2151(大代表)

「さわやかな世界をつくる」ことを目指した 新菱冷熱の60年

1956年に創業した新菱冷熱は、本年60周年を迎えました。ここでは新菱冷熱が、60年の歩みの中で携わってきた主な施工実績や、経営ビジョン「さわやかな世界をつくる」ことに向けて培ってきた技術、人を育てる取り組みの歴史などについて紹介します。

1956～1968年

創業と突進

- 1956年 ● 本社を東京都港区芝西久保巴町45番地に置き、資本金500万円をもって創業
- 喫茶兼レストラン「かをり」にて冷房設備工事初受注
- 1957年 ● 当時日本最大級のビルといわれた新大手町ビルを受注し、会社の基礎を確立
- 富士通信機製造川崎工場にて本格的な工場の設備工事を受注
- 1958年 ● 大阪営業所を開設
- 1960年 ● 本社を現在地(東京都新宿区四谷二丁目4番地)に移転
- 1961年 ● 名古屋営業所を開設
- 1964年 ● 工事部、機器部を開設
- 1965年 ● 日本初の「3-パイプ年間空調方式」を開発し、日本不動産銀行本店ビルに導入
- 1966年 ● 広島営業所を開設
- 研修寮「耕風寮」完成
- 1967年 ● 仙台営業所を開設
- 1968年 ● 技術者3名をアメリカ視察に派遣
- 世界貿易センタービルにて超高層ビル施工・冷凍機コンピュータ制御導入



新大手町ビル

創業者の思い

「きまじめな技術者によって運営できる会社を夢見て業を興した。私はこの会社に、技術に対する愛情と夢とロマンをかけた」

○技術と人を育てる歴史



新菱冷熱工業創立総会



高松寮で研修する「花の1期生」

社是

「正しからざることを与するな
「あらん限りの誠実を尽くせ
「学歴を金と問はず、実力ある者を指導せしめよ」

社是

社是は、創業者、故 加賀美勝会長が信念としていた人生観・事業観を表現したものです。新菱冷熱はこの精神を実業の世界で具現化するために創設されました。この3カ条は新菱冷熱の原点であり、社員が考えるとき、決断するとき、行動するとき、すべてにおいてその根本となります。

1969～1977年

事業部制の強化と新たな事業領域の展開

- 1969年 ● 福岡営業所を開設
- 1970年 ● 本社新社屋完成
- 業界初の技術研究所を設立
- 原子力部を開設し、原子力利用のエネルギープラント分野へ進出
- 1971年 ● 中国支社を開設
- 1972年 ● ベトナム・チョーライ病院にて本格的な海外工事初受注
- 1972年 ● 千里ニュータウン中央地区センターにて地域冷暖房施設初受注
- 新宿副都心地区地域冷暖房受注
- 札幌営業所を開設
- 1973年 ● 都市設備部を開設し、都市計画・都市再開発などの大規模プロジェクトに対処できる体制を敷く
- 1975年 ● 東北支社を開設
- 1976年 ● 伊豆の三津天然水族館(現伊豆・三津シーパラダイス)改築に伴う水族館設備工事初受注
- 1977年 ● 舞鶴工場を開設
- 香港地下鉄フントン線第1期工事受注



チョーライ病院(ベトナム)



千里ニュータウン中央地区センター・地域冷暖房



新宿副都心地区・地域冷暖房

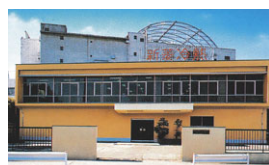
○技術と人を育てる歴史



1969年 8事業部制で組織を強化。それぞれの部署に責任をもたせ、若い社員たちに勉強させる狙いもあった。



1970年 本社社屋が新宿区四谷に完成。組織としての自律を加速



1970年 業界初の技術研究所を設立(東京都品川区大崎)

1978～1987年

国内事業の躍進と 海外事業の拡大

- 1978年 ● 香港営業所を開設し、海外展開の本拠地とする
- 1979年 ● 外国部を開設し、海外展開を事業の大きな柱とする
 - 建設省(現 国土交通省)、管工事登録格付第1位
 - 汚泥常圧浮上濃縮装置「NAIAS」開発
- 1982年 ● 香港に現地法人を設立(新菱香港)
- 1983年 ● シンガポール営業所を開設
 - マレーシアに現地法人を設立(新菱マレーシア)
- 1986年 ● タイに現地法人を設立(タイ新菱)
- 1987年 ● 台湾に現地法人を設立(台湾新菱)



東京ドーム



香港上海銀行本店ビル
(香港)

1988～1997年

新たな使命と 事業基盤の再構築

- 1990年 ● 筑波研究学園都市に中央研究所を開設
 - フィリピンに現地法人を設立(新菱フィリピン)
 - 横浜ランドマークタワー受注
- 1992年 ● 技術統括部を開設、安全統括部を開設
 - 創業者 加賀美勝会長逝去
- 1994年 ● インドネシアに現地法人設立(新菱インドネシア)
- 1995年 ● クアラルンプール新国際空港で海外初の地域冷房プラント受注



横浜ランドマークタワー

○技術と人を育てる歴史



1990年 中央研究所を開設
(茨城県つくば市)



1992年 創業者 加賀美勝
会長が逝去

1998年～現在

事業拡大への挑戦と体制整備

- 1998年 ● ISO9000s認証取得開始
 - スーパーコンピューターによる数値流体解析技術開発に着手
 - 沖縄美ら海水族館受注
- 2001年 ● ISO14001認証取得
 - シンガポールに現地法人を設立(新菱シンガポール)
 - 丸の内地区地域冷暖房複数プラント受注
- 2002年 ● シャープ亀山第一工場受注
- 2003年 ● 建築設備施工図3次元CAD「S-CAD」をリリース
- 2005年 ● 中東(ドバイ)営業所を開設
- 2007年 ● ベトナムに現地法人を設立(新菱ベトナム)
 - アブダビ営業所を開設
- 2008年 ● 中央研究所を環境計量証明事業所・臭気測定認定事業所として登録
- 2009年 ● 本社ビル改修(自社ビル省エネeco化プロジェクト)実施
- 2010年 ● 計装エンジニアリング事業部を開設
- 2012年 ● 環境マネジメントシステム永年認証表彰
 - 施工図センターを開設
 - 三次元技術による「スペーススキャニングシステム」を開発
- 2014年 ● CSR推進室、コンプライアンス推進室を開設
 - 海外実務派遣制度、新入社員海外短期トレーニング制度を導入
- 2015年 ● 外国人エンジニアの現場実習開始



シャープ株式会社亀山工場



ザ・ヴェネチアン®・マカオ・リゾート・ホテル(マカオ)



ペトロナス ペナピサン(マラッカ)
コージェネレーションプラント
(マレーシア)

○技術と人を育てる歴史



2006年 耕風寮を横浜に移転



新入社員教育のほか、教育全般を行う施設として活用

1 新菱冷熱自社ビル 省エネeco化プロジェクト

新菱冷熱は、長年培ってきた技術・ノウハウを結集して、1970年竣工の本社ビルを、省エネルギーと快適性を両立した建物に改修しました。竣工以降も運用改善を続け、エネルギー消費量削減の目標値を1年前倒して達成しました。



社会の要請

これまでの日本は、短期間で建物を建て替える、スクラップアンドビルドが主流でした。しかし、建て替えると大量の廃棄物が発生し、地球環境への負荷が大きくなります。そのため、近年では、既存の建物を適切に改修し、長く使用

することが求められています。また、低炭素社会の実現に向けて、建物の運用時におけるエネルギー消費量の削減が求められています。

概要

竣工から40年以上が経過した本社ビルは、設備が老朽化しており、エネルギー効率が悪い状態でした。また、夏期のクールビズ環境下では、不十分な除湿と温度ムラから、快適性が低下していました。さらに、エネルギー消費量が数値として見えず、本社で執務する人の省エネルギー意

識が高まらない点も課題でした。そこで、本プロジェクトでは、エネルギー効率と快適性を向上させる空調システムの採用と、執務者に省エネルギー行動を促し快適性を意識させるソフトウェア構築の2つの側面から「省エネルギーと快適性の両立」を目指しました。

成果

目標削減率を1年前倒して達成

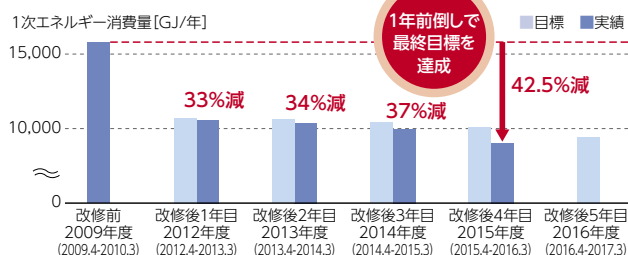
省エネ
ハード

快適性
ソフト

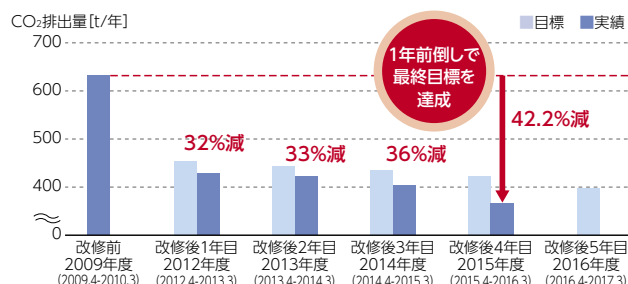
計画当初は、改修後5年目の2016年度に1次エネルギー消費量削減率40%、CO₂排出量削減率37% (2009

年度比)を達成するという目標を掲げましたが、継続的な運用改善に取り組んだ結果、1年前倒して、改修後の運用4年目で目標を達成することができました。

○1次エネルギー消費量



○CO₂排出量



省エネルギーと快適性の両立に成功

省エネ
ハード

快適性
ソフト

執務者へのアンケートでは、約7割が改修前に比べて快適性が向上したと回答しており、省エネルギーと快適性を両立することができました。一部のエリアにはフリーアドレスを採用し、スペース利用効率の向上を図りました。また携帯電話によるモバイル内線を採用し、不在時の電話対応など業務の無駄をなくし、生産性の向上につなげました。



改修前の執務環境



改修後の執務環境

導入した主な技術

自然エネルギーと高効率機器を利用した熱源システム

省エネ
ハード

快適性
ソフト

熱源システムは、「自然エネルギーの有効利用」と「高効率・トップランナーシステムの採用」を考慮して計画しました。自然エネルギーを有効に利用する設備として、太陽熱をエネルギー源として冷房・暖房を行う「ソーラークーリングシステム」を導入しています。このシステムは、ソーラー温水パネルで太陽熱を集めて温水をつくり、夏期には、温水をソーラージェネリンクに供給して冷水をつくり冷房に利用します。また冬期には、暖房用温水熱交換器を介して暖房に利用します。さらに、コージェネレーションシステムの排熱を、太陽熱とあわせて利用しています。

ソーラー温水パネル

太陽熱を集め、約 65 ～ 85℃ の温水をつくる。



ソーラージェネリンク

夏期に太陽熱温水を利用して冷水をつくる。冷房に利用。

暖房用温水熱交換器

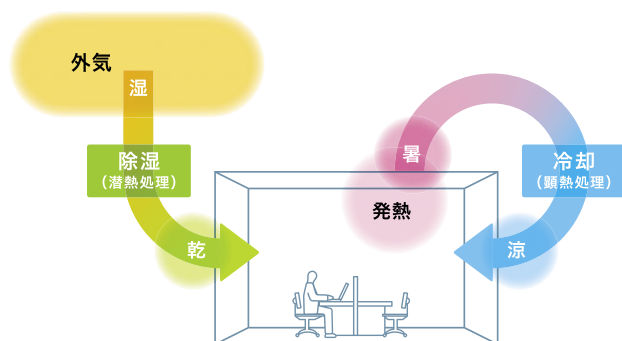
冬期に太陽熱温水を利用して温水をつくる。暖房に利用。

除湿・冷却分離空調システム

省エネ
ハード

快適性
ソフト

三菱冷熱が開発した氷蓄熱システム「ザ・自由雪計®」を用いて外気を確実に除湿することにより、夏期の除湿不足を解消し、快適な執務環境を実現しました。



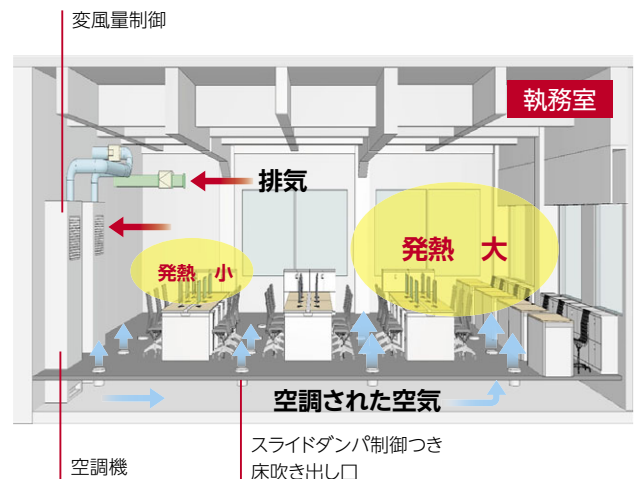
除湿・冷却分離空調システムの概要

スパンごとに個別制御できる空調システム

省エネ
ハード

快適性
ソフト

スパンごとの熱負荷に応じて吹き出し風量を制御する、個別制御式空調システムを採用しました。変風量制御により、搬送動力を削減しています。さらに、改修前の単一ダクト空調方式で発生していた執務空間での温度ムラを、スパンごとの制御により解消しました。



快適性と省エネルギーをサポートする運用管理システム

省エネ
ハード

快適性
ソフト

執務者の意思を反映したきめ細かな運用ができるシステム「SEOC (Smart Eco Office Controller)」を開発しました。自席のパソコンから寒暑感などを申請することができ、たとえば執務者が「涼しく」や「とても涼しく」を申請した場合、所定の時間 (10～20分) のみ空調の設定温度を下げた運転を行います。また執務者の省エネルギーに対する意識を啓発するため、スパンごとのエネルギー使用量の見える化を行いました。他スパンと比較することで、省エネルギー意識の向上を促す効果があります。



パソコン・タブレット画面のイメージ

効率の良い照明システム

省エネ
ハード

快適性
ソフト

照明は、LEDなどの高効率照明システムを採用しています。昼光を有効利用し、照度センサーによるスパンごとの調光制御を行うことで、照明電力を削減しています。さらに、人感センサーにより、不在時には段階的な調光の後、自動消灯することで省エネルギーを実現しています。

施工上の取り組み

3次元計測技術による施工の省力化

省エネ
ハード

快適性
ソフト

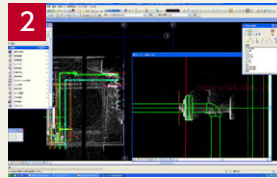
3Dレーザースキャナおよび3次元計測・位置決めシステム

ム「3D-MAPS」を利用して、配管工事の一部をプレファブ化しました。

施工フロー



1 機械室内を3Dレーザースキャナで計測する。



2 3次元座標データと竣工図から作成した施工図(3D-CAD)を比較して施工図を修正する。



3 施工図をもとに新設配管を工場で製作する。製作したすべての部材にRFIDタグ*を取り付ける。

※RFIDタグ:非接触で情報を読み書きできるタグ



4 RFIDを読み、施工図からその部材の取り付け位置を自動抽出する。3D-MAPSによりその位置を指示し、それに従って部材を取り付ける。
※写真のレーザー光はイメージ

BIMの活用による作業の効率化

省エネ
ハード

快適性
ソフト

新菱冷熱が独自に開発した3D-CAD「S-CAD」を用いて、設計図、施工図、3次元モデルを作成し、BIM (Building Information Modeling) モデルを構築しました。これにより、完成イメージを事前に確認することが可能となり、施工後の手戻り作業をなくすることができました。

また屋上に設置する熱源機器の車両誘導から、クレーンでの吊り込み、組み立て、移動までの手順をアニメーション

で作成し、搬入時の危険ポイントを事前に確認しました。搬入の当日は基本的な確認のみで施工ができ、安全で効率の良い作業をすることができました。



完成イメージの事前確認



搬入シミュレーション

プロジェクトの年譜

本プロジェクトは、全事業部・支社が参加した「環境・省エネアイデアコンペ」から始まりました。

計画・設計

○2009年6月
環境・省エネアイデアコンペ



アイデアコンペ

○2009年11月
プロジェクト発足



プロジェクト会議



図面交付式

施工

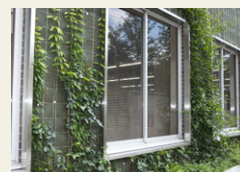
○2010年11月
着工



解体工事開始



ソーラークーリングシステム工事



壁面緑化工事



高効率空冷ターボ
ヒートポンプチラー工事

検証・継続

○2011年9月
竣工

以後、検証と継続的な省エネルギー策を実施

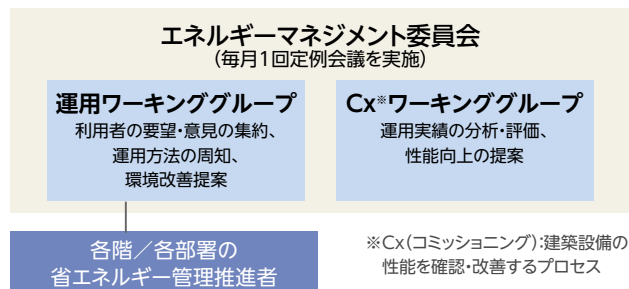
運用改善の取り組み

体制

省エネ／快適性
ハード／ソフト

エネルギーマネジメント委員会を設け、省エネルギー効果の検証と1次エネルギー消費量削減率40%達成に向けた継続的な運用改善に取り組みました。

○体制図



啓発活動

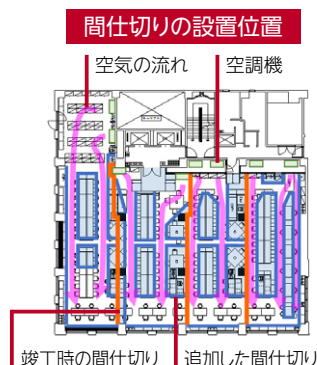
省エネ／快適性
ハード／ソフト

社内掲示板で毎月のエネルギー消費量実績(建物全体、用途別など)、フロア別のエネルギー削減率ランキング、省エネルギーシステムの解説などを発信し、社員の省エネルギー意識の向上を図りました。

OAフロア下部の間仕切り設置による執務室の温熱環境改善

省エネ／快適性
ハード／ソフト

竣工後、厳冬期には窓まわりの床吹き出し口の吹き出し温度が低い状態になり、室内の温熱環境が悪化していました。そこで、OAフロア下部に間仕切りを設置しました。机の下など、床吹き出し口が設置されていない部分を囲むように間仕切りを



設置し、空調機から吹き出した温風がスラブに接触する面積を低減しました。その結果、窓まわりの床吹き出し口の吹き出し温度が高くなり、室内の温熱環境が改善しました。

タスク照明の導入

省エネ／快適性
ハード／ソフト

照明と什器のレイアウトによっては机上に影ができてしまう状況があったため、一部エリアの机上照度不足の改善と照明電力の削減を目的に、全般照明方式から全般+タスク照明方式に変更しました。

全般照明方式は照度設定値550~700lxで調光制御を行っていましたが、全般+タスク照明方式では照度設定値350lxとして運用し、タスク照明は、在席者各自が必要に応じて調光できるようにしました。その結果、約14%の電力削減を図ることができました。

主な取り組みの成果

取り組み	成果
熱源運用方法の改善	システムCOP: 1.36 → 1.44
2重サッシ化	冬期窓表面温度 5℃上昇
サーバー室の空調改善	空調エネルギー: 30%減
LED照明の導入	照明電力: 30~40%減
高効率Hf照明の導入	照明電力: 20~40%減
照明器具単位のON/OFF制御	照明電力: 60~70%減
外壁面の断熱強化	熱通過率: 1.61→0.81W/m ² K
緑のカーテン(ゴーヤ)	夏期窓表面温度 15℃低下

VOICE



エネルギーマネジメント委員会 リーダー 技術統括本部 技術統括部 部長補 井手 克則

本社ビルにはさまざまな省エネルギー技術を導入していますが、最大限の省エネルギー効果を得るためには利用実態に合わせた運用をすることが必要です。そのため、運用実績の分析による改善案の策定や省エネルギーの啓発活動などを行いながら継続的な運用改善に取り組みました。

目標を対外的に公表していたこともあり、当初から社員の省エネルギー意識は高く、一人ひとりの省エネルギー活動への取り組みにより、削減目標を1年前倒しで達成できたのだと思います。

今後は、このプロジェクトで得られた知見を生かして、新菱冷熱が施工する物件のさらなる省エネルギー化を図り、低炭素社会の実現に貢献していきます。

2 事業活動ハイライト

新菱冷熱は、事業活動を通じて社会に貢献していきたいと考えています。
事業活動ハイライトでは、今年度の主だった事業を通じたCSR活動を紹介します。



アラブ首長国連邦

アブダビ国際空港新ターミナル向け地域冷房プラント

本施設は、アラブ首長国連邦のアブダビにて、空港利用者の増加に対応しようと建設された新空港施設「ミッドフィールド・ターミナル・コンプレックス」に熱エネルギーを供給するプラント施設です。

プラントは、冷凍機18台、蓄熱槽2基で、55,000RTの供給能力を有し、新菱冷熱は、設計、機器・資材の調達、建設・施工、コミショニングまでを含めた業務に携わりました。新菱冷熱がこれまで手掛けた東京新宿地区にある日本国内最大級の地域冷暖房プラントに匹敵する大規模工事になりました。

冷凍機を2台直列につなぎ、上流側冷凍機は冷水を14℃から9℃、下流側冷凍機は9℃から4℃に冷却して温度差を大きくすることで、搬送する冷水量を少なくしています。さらに、変流量制御により省エネルギー化を図っています。また、冷水供給設備を集約することで、保守セキュリティ管理、エネルギー管理を一括して行い、運用の高効率化を図っています。

建物概要

正式名称：アブダビ国際空港拡張に伴う地冷プラントI期、II期工事
オープン：2016年1月12日(オープニングセレモニー開催日)
延床面積：約12,261m²
建物用途：地域冷房プラント
主熱源機器：ターボ冷凍機(2,500RT×18台)、成層型冷水蓄熱槽(25,000トン×2基)

施工中は、夏の気温が50℃を超える過酷な作業環境、多国籍の作業者による文化や言葉の壁など、さまざまな課題があったものの、無事に竣工を迎えることができました。

アブダビ国際空港の利用者数は、今後10年間で倍増する見通しであり、その需要の増大に対応すべく、空港拡張工事計画が進められています。本プロジェクトは、この一部であり、新空港施設「ミッドフィールド・ターミナル・コンプレックス」は2017年末の竣工を目指しています。

この貴重な経験と自信を新たな次のプロジェクトにつなげていきたいと新菱冷熱は考えています。

アブダビ国際空港新ターミナル向け地域冷房プラント





宮城

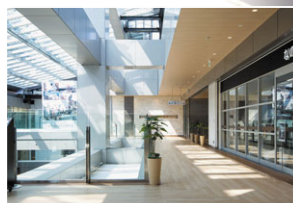
エスパル仙台 東館

エスパル仙台 東館の建設は、震災で仙台ターミナルビル関連も被害を受けたものの、計画通りに着工し、震災から5年後の2016年、東北の玄関口の地域復興シンボルとしてグランドオープンしました。

新菱冷熱は、エスパル仙台 東館の空調設備工事を担当しました。空調は、水熱源パッケージの熱源水系統と冷蔵庫冷却水系統を統合して省エネルギーを図ったほか、施工時には、空調配管の約95%に工場で加工した配管を採用し、廃材削減や配管加工の効率化を図りました。

また、工期が約3年と長く、工期の前半は現場作業がなかったため、社員には残業することなく早めに業務を終わらせることを心掛けてもらい、仕事以外の時間の充実を推進しました。

エスパル仙台は、仙台駅の西口と東口をつなぐ東西自由通路を挟み、南北に店舗を配置する「街・人がクロスする新たな都市」をコンセプトとして計画され、宮城県だけな



エスパル仙台 東館

建物概要

正式名称：エスパル仙台 東館
オープン：2016年3月18日
延床面積：39,700m²
建物用途：商業施設

く東北各地から人が集う場所になっています。東北復興のシンボルとして、仙台だけでなく東北全体が注目している施設です。

新菱冷熱は、復興の建設に微力ながらお手伝いできたことを誇りに思い、喜びを感じています。東北の復興はまだまだ道半ばですので、今後も事業を通して復興に寄与できるよう努力していきたいと考えています。



東京

Tri-Seven Roppongi

Tri-Seven Roppongiは、東京ミッドタウン、六本木ヒルズ、国立新美術館という3つの商業的・文化的拠点の中心に位置する新たなランドマークとして建設が進められました。

地下2階・地上14階の建物は、低層階（地下2階～地上3階・駐車場、店舗）と高層階（地上4階～14階・事務所、屋上）の間に免震層が設けられており、事務所には、欧州では一般的な空調システムであるアクティブチルドビームが導入されています。導入台数は約2,200台で、日本での大規模導入としては、本建物が初めてです。

新菱冷熱は、空調設備・自動制御設備工事を担当し、アクティブチルドビームの設置や、施工確認業務などに、新菱冷熱が開発した3D-MAPS（3次元計測システム）、ドレン勾配チェックツールなどの技術を用いて、効率的な施工を実現しました。



3D-MAPSによるレーザー照射
※写真のレーザー光はイメージ



専用プリズムでレーザー照射を捕捉

建物概要

正式名称：Tri-Seven Roppongi
オープン：2016年8月
延床面積：31,416m²
建物用途：事務所・店舗・駐車場

Tri-Seven Roppongi



会社概要

商 号 新菱冷熱工業株式会社
SHINRYO CORPORATION
本 社 住 所 東京都新宿区四谷二丁目4番地
電 話 (03)3357-2151 (大代表)
設 立 1956年(昭和31年)2月23日
代表取締役社長 加賀美 猛
従 業 員 数 2,066名(単体)
(2016年9月末現在)
5,034名(グループ会社を含む)
資 本 金 35億円

主な事業内容

○各種設備の設計・施工

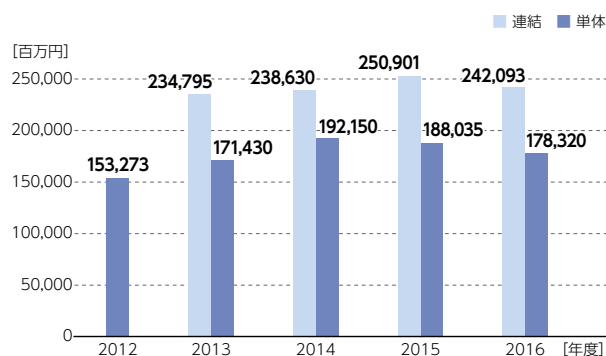
空調設備 …… 冷暖房および換気設備／産業空調換気設備／恒温恒湿設備／環境試験設備／クリーンルーム／バイオクリーンルーム／ドライルーム／氷蓄熱設備
給排水衛生設備 …… 給水設備／給湯設備／ガス設備／排水設備／厨房設備
自動制御設備 …… 集中管理システム／計装設備
防災設備 …… 火災報知設備／排煙設備／避難誘導設備／屋内消火栓・屋外消火栓・スプリンクラー・二酸化炭素その他各種消火設備
電気設備 …… 屋内配線設備／弱电設備／受変電設備／送配電設備／自家発電設備
都市設備 …… 地域冷暖房設備／廃棄物空気輸送設備／特定電気事業設備
情報管理システム …… 各種都市プラント・産業設備・ビルなどの制御および施設管理システム
コージェネレーション設備 …… 発電設備／排熱利用設備
燃料エネルギー設備 …… 原子力・火力発電所・燃料サイクル関連施設および各種試験研究のプロセスならびに換気空調設備／特殊フィルタ装置／廃棄物処理装置
環境衛生設備 …… 上水道設備／下水道設備／中水道設備／汚水処理設備／産業排水処理設備／ごみ処理・集塵処理設備
プラント設備 …… 薬品・食品プラント設備／石油関連プラント設備／その他プラント設備
低温設備 …… 冷凍冷蔵設備／超低温および精密温調冷却装置
特殊設備 …… 太陽エネルギー利用設備／水族館設備／栽培漁業設備／プール設備／バイオハザード設備／超清浄空間設備／人工気象室／人工降雪設備

○建築の設計・施工 クリーンルーム建屋／プラント建屋／内装工事／設備工事に付帯する建築工事／一般建築設備

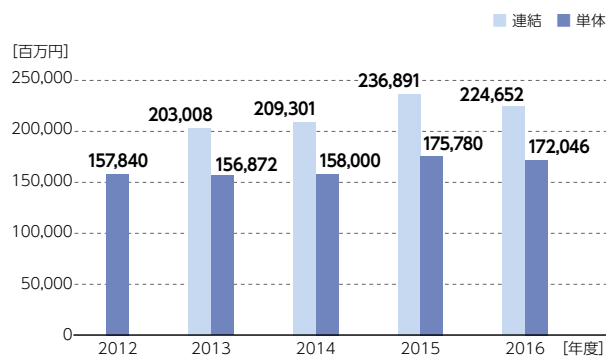
○空調機器類販売 空調機・冷熱製品／換気送風機／衛生陶器／その他空調機関連商品

業績の推移

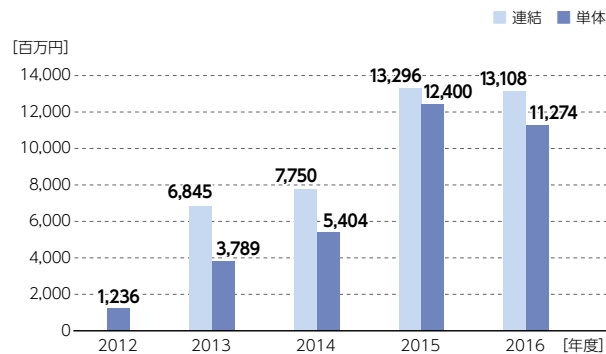
○受注高



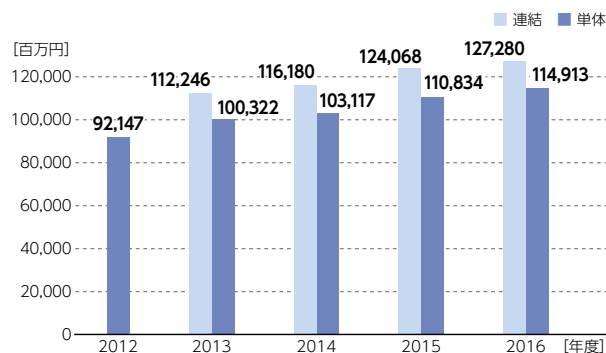
○完成工事高



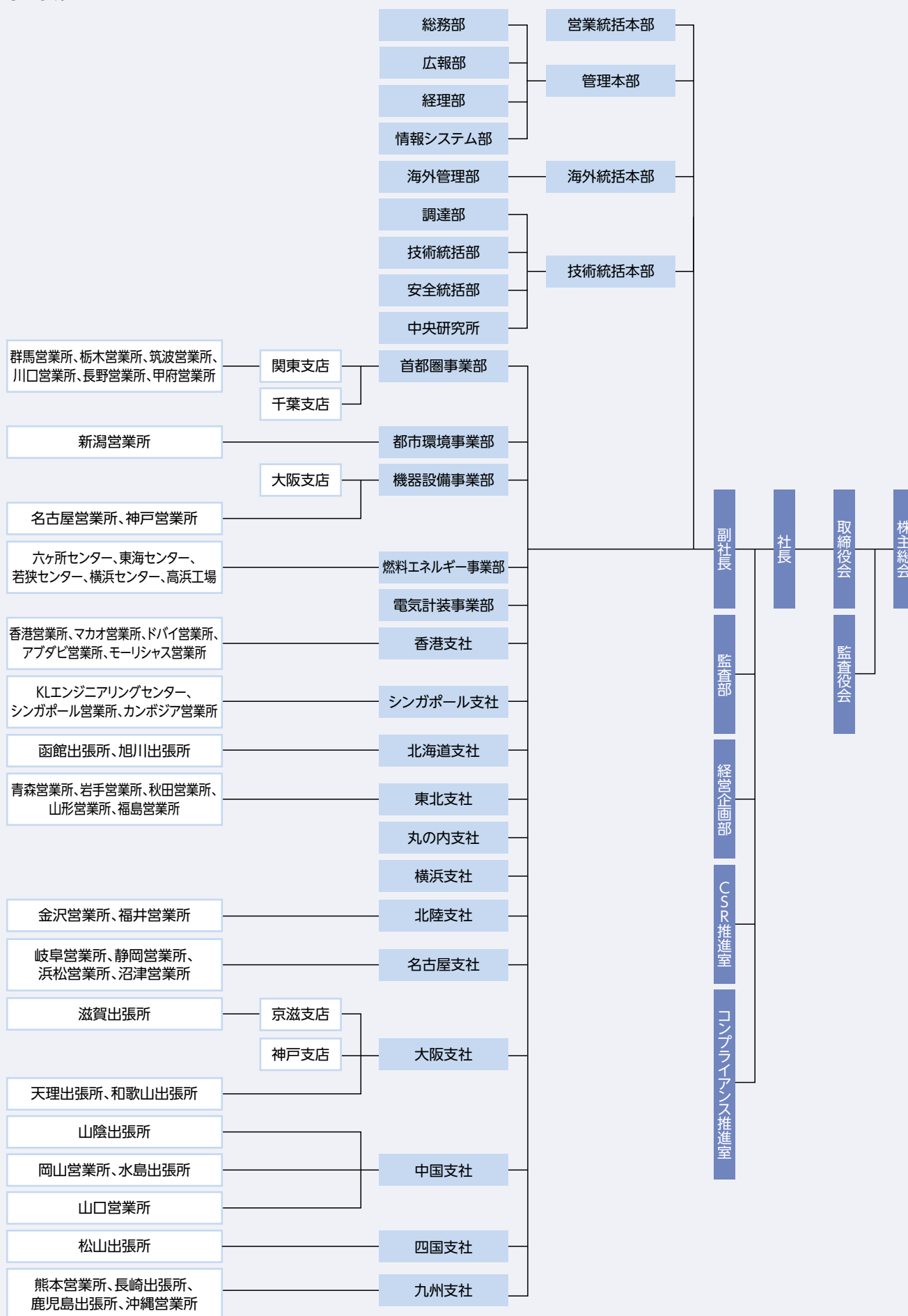
○経常利益



○自己資本



組織図



新菱グループネットワーク

新菱グループネットワークは、お客様に多様な製品・サービスをお届けしています。

中でも新菱冷熱は、日本全国の拠点から、人にも環境にもやさしい空調・給排水衛生・電気設備、最先端の製品を生み出す生産環境を構築する確かな技術力、街・地域にやさしい地域冷暖房システム、安心安全なプラント設備技術、保守管理や省エネルギーを支援する総合情報システムを提供してきました。

また海外では、アジア・中東を中心に拠点を設け、新菱冷熱の「さわやか」を世界にお届けしています。

新菱冷熱工業株式会社

SHINRYO CORPORATION

- ・香港支社
- ・香港営業所
- ・マカオ営業所
- ・ドバイ営業所
- ・アブダビ営業所
- ・モーリシャス営業所
- ・シンガポール支社
- ・KLエンジニアリングセンター
- ・シンガポール営業所
- ・カンボジア営業所
- ・インド駐在員事務所
- ・メキシコ駐在員事務所

国内グループ会社

新菱テクニカルサービス株式会社

主な事業 空気調和設備、給排水衛生設備、リニューアル、建築物の年間保守・維持管理、設備診断、メンテナンス、不動産の売買、賃貸借、仲介および管理

株式会社城口研究所

主な事業 給排水衛生設備・空気調和設備・防災設備のコンサルティング・設計・施工・リニューアル・保守管理

大栄電気株式会社

主な事業 電気設備・消防施設・電気通信等の設計・施工・請負・保守管理

新菱工業株式会社

主な事業 公共用ポンプ設備・汚泥処理設備・VOC放散量測定チャンバー・産業機械設備の設計・製造販売・据え付けおよびアフターサービス

株式会社秋田キャッスルホテル

主な事業 ホテル事業、病院・福祉関連事業（入院患者食事サービス、福祉施設等の食事サービス、病院内レストラン）、オフィス・店舗賃貸業

株式会社グローバルスタッフ

主な事業 人材派遣・人材紹介事業、ビジネスアウトソーシング事業、e-コマース事業、メディア事業

株式会社シスプロ

主な事業 3次元CAD・FMシステムの開発、ITネットワーク構築サービス、3次元モデル入力、BIM導入支援サービス、CAD教育、ソフトウェア販売

株式会社ルプロ

主な事業 建築設備工事の設計図・施工図作成および積算数量表作成、3次元レーザースキャニングから3次元モデル作成、環境計測および試運転調整業務

国内ネットワーク

65拠点

海外ネットワーク

24拠点

海外グループ会社

新菱香港

SHINRYO (HONG KONG) LTD.

所在地 Unit 3708, 37/F, Skyline Tower, 39 Wang Kwong Road, Kowloon Bay, Hong Kong

新菱香港 マカオ営業所

SHINRYO (HONG KONG) LTD. MACAU BRANCH

所在地 6B, 6/F, Chong Fok Commercial Centre, 1287 Avenida da Amizade, Macau

STS香港

SHINRYO TECHNICAL SERVICES LTD.

所在地 Unit 1805, Wang Lung Industrial Building, 11 Lung Tak Street, Tsuen Wan, N.T., Hong Kong

台湾新菱

TAIWAN SHINRYO CO., LTD.

所在地 10F No.28, Jinjou St., Jungshan Chiu, Taipei, Taiwan, 104 R.O.C.

新菱フィリピン

SHINRYO (PHILIPPINES) CO., INC.

所在地 Rm.404-406 One Corporate Plaza, 845 A.Arnaiz Ave., Makati City Manila 1200, Philippines

タイ新菱

THAI SHINRYO LTD.

所在地 Green Tower, 7th Floor, 3656/18-19 Rama 4 Road, Klongton, Klongtoey Bangkok 10110, Thailand

タイ新菱 ミャンマー営業所

THAI SHINRYO LTD. MYANMAR BRANCH

所在地 Room 305, 2nd Floor, Building 15, MICT Park, Hlaing Township, Yangon, Myanmar

新菱マレーシア

SHINRYO (MALAYSIA) SDN. BHD.

所在地 Unit 24.02, 24th Floor, Menara KH, Jalan Sultan Ismail, 50250 Kuala Lumpur, Malaysia

新菱シンガポール

SHINRYO SINGAPORE PTE, LTD.

所在地 6 Shenton Way, #15-08 DUE Downtown 2, Singapore 068809

新菱インドネシア

PT.SHINRYO INDONESIA

所在地 Graha Pratama, 10th Floor, JL. MT. Haryono kav. 15 Jakarta 12810, Indonesia

新菱ベトナム

SHINRYO VIETNAM CORPORATION

所在地 3/F., Saigon Prime Office Building 107-109-111 Nguyen Dinh Chieu Street, Ward 6 District 3, Ho Chi Minh City, Vietnam

新菱ベトナム ハノイ営業所

SHINRYO VIETNAM CORPORATION HANOI BRANCH

所在地 4/F., Lac Hong Office Building No.85 Le Van Luong Street, Nhan Chinh Ward, Thanh Xuan District, Hanoi City, Vietnam

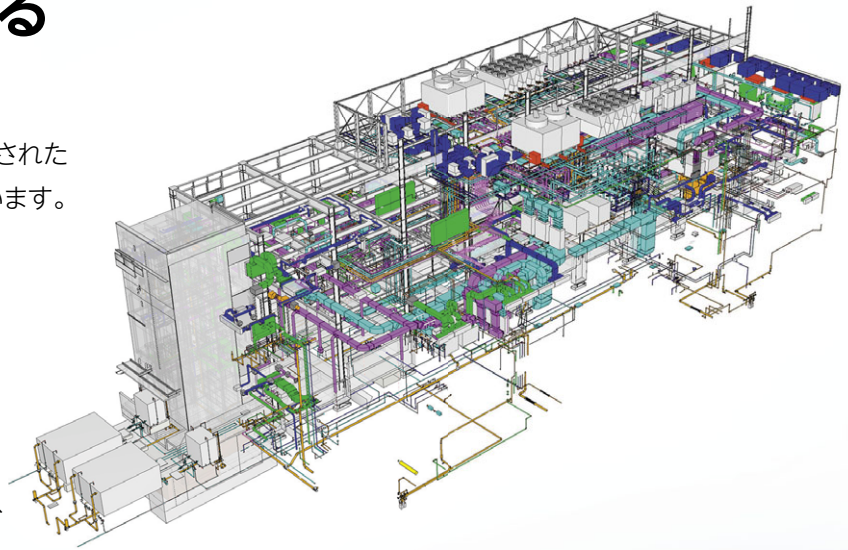
施工実績

“建物は生きている”

建物の壁の中には、
空調ダクトや配管、電線などが組み合わされた
システムが縦横無尽に、ぎっしり通っています。

これらのシステムが、建物の各部屋に、
省エネルギーで快適な空気・水・電気を
送っています。

“建物は生きている”
建物に息を吹き込むようにデザインして、
作り上げるのが、新菱冷熱の仕事です。



国内



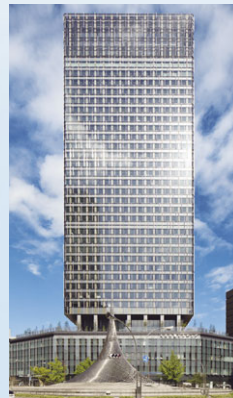
虎ノ門ヒルズ
(東京都港区)



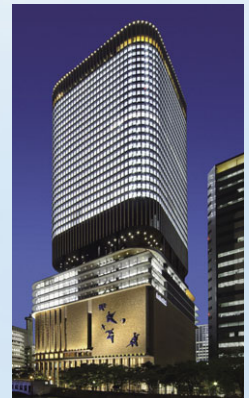
パレスホテル東京・パレスビル
(東京都千代田区)



横浜ランドマークタワー
(神奈川県横浜市)



大名古屋ビルヂング
(愛知県名古屋市中区)



中之島フェスティバルタワー
(大阪府大阪市)



東京スカイツリー®地区・
地域冷暖房(東京都墨田区)



大手町地区・丸の内一丁目地区他・地域冷暖房
(東京都千代田区)



みなとみらい21中央地区・地域冷暖房
(神奈川県横浜市)



ヤクルト本社中央研究所基礎研究棟
(東京都国立市)



広島大学病院診療棟
(広島県広島市)



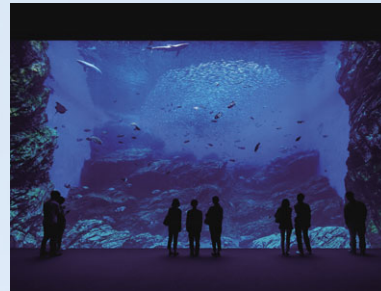
沖縄科学技術大学院大学
(沖縄県国頭郡)



サントリー
ワールド リサーチセンター
(京都府相楽郡)



スタンレー電気株式会社秦野製作所1号館
(神奈川県秦野市)



仙台うみの杜水族館(宮城県仙台市)
※写真は大水槽「いのちきらめく うみ」



札幌競馬場
(北海道札幌市)



関東グリコ北本ファクトリー
(埼玉県北本市)



マリーナベイ サンズ複合施設
(シンガポール)



香港地下鉄
(香港)



本田技研工業株式会社和光ビル
(埼玉県和光市)



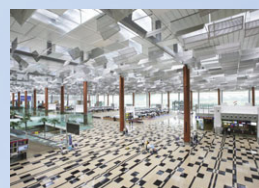
ペトロナス ペナピサン(マラッカ)
コージェネレーションプラント(マレーシア)



タイ協和バイオテクノロジーズ
(タイ)



シャープ株式会社亀山工場
(三重県亀山市)



チャンギ国際空港ターミナル3
(シンガポール)
"Courtesy of Civil Aviation
Authority of Singapore"



ザ・ヴェネチアン®・マカオ・
リゾート・ホテル(マカオ)



ディスカバリーガーデン地域冷房
プラント(ドバイ)

CSR推進体系

新菱冷熱は、経営ビジョン「さわやかな世界をつくる」に沿った事業活動を行っています。経営ビジョンとは新菱冷熱が目指し続けるものであり、こうした活動が社会の持続的発展への貢献につながっていくと考えています。



新菱冷熱CSR宣言

新菱冷熱CSR宣言は、中長期事業計画(3カ年計画)を包括した内容になっています。事業の継続・成長とともに社会的責任を果たすため、必ず達成することを目指すもので

す。また、時代的・社会的背景の変化に応じて新たに策定し、実行戦略の指針としていくものです。

われわれ新菱冷熱は、経営ビジョンのもと、次の3つの取り組みを宣言し、環境創造企業に進化します。

1

先端的な生産手段を駆使した新たな業務モデルによる、高品質・省資源・省エネルギーな「ものづくり」と、快適で最適なライフサイクルマネジメントを実現させた独自の「ワンストップサービス」を提供します。

2

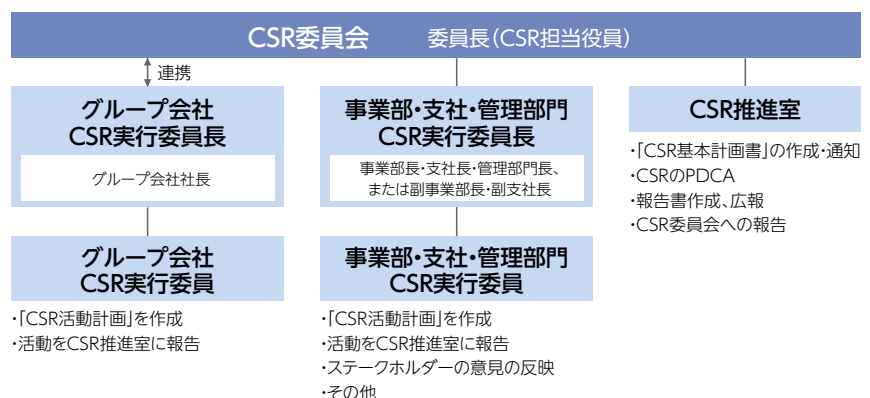
これらの技術をグローバルに展開し、地球温暖化防止、エネルギーの安全・安心で有効な利用という社会的課題の解決に取り組んでいきます。

3

そして、すべての事業活動の基盤となる透明性の高い経営と働きやすい企業風土の醸成に取り組めます。

CSR推進体制

経営ビジョンである「さわやかな世界をつくる」の実現を目指し、右図のようなCSR担当役員を委員長とするCSR委員会を設置しています。CSR推進室が中心となり、各部署・グループ会社から選ばれたCSR実行委員と共に活動を推進しています。



CSR重点課題と基本テーマ

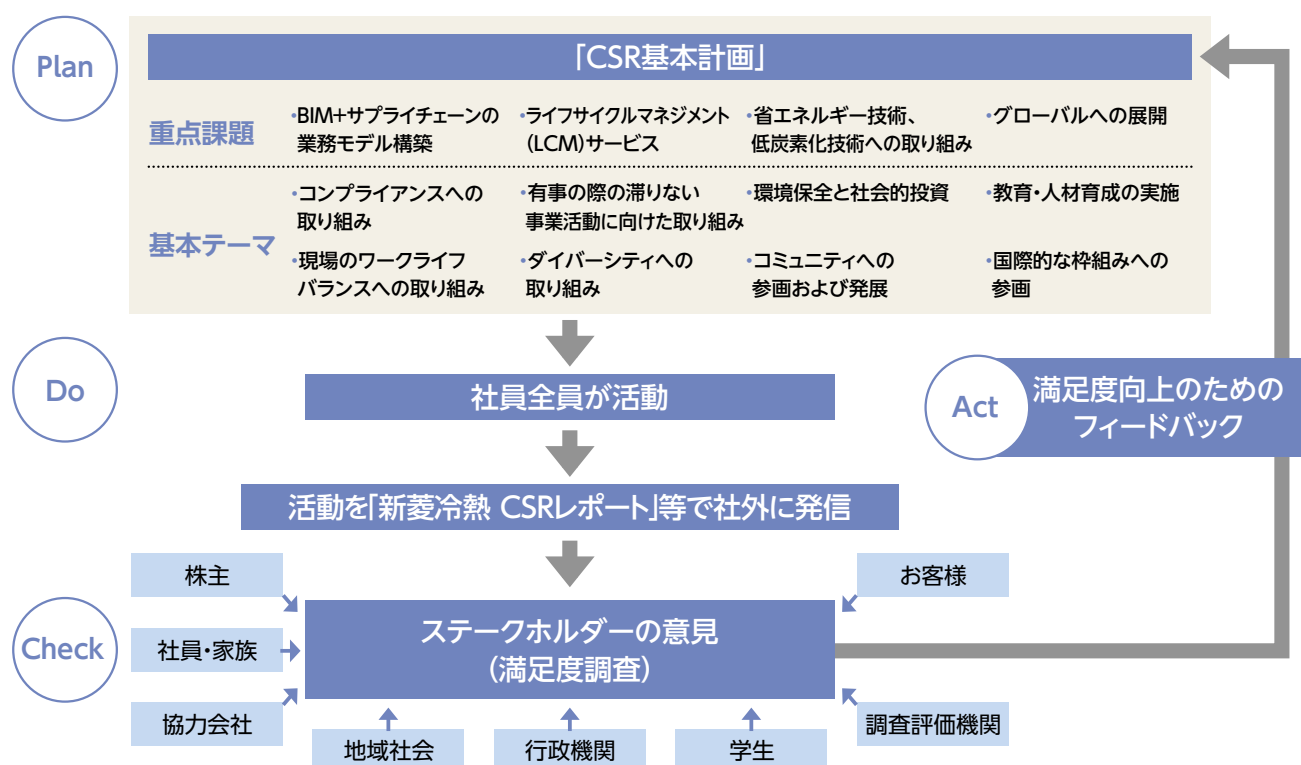
CSR重点課題 社会への新たな価値提供

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1 BIM+サプライチェーンの業務モデル構築 <ul style="list-style-type: none"> 3D-CAD化の推進 モジュール化や調達・デリバリー方法の改革による施工サプライチェーンの構築 施工の効率化、建築資源・環境負荷の低減 | 2 ライフサイクルマネジメント (LCM) サービス <ul style="list-style-type: none"> BIM、コミッションング、CFD、FMの技術を融合し、独自のLCMサービスを提供 | 3 省エネルギー技術、低炭素化技術への取り組み <ul style="list-style-type: none"> エネルギー関連技術、低炭素化技術の開発と提供 エネルギー需給者の双方に、最適化および面的利用技術を提供 | 4 グローバルへの展開 <ul style="list-style-type: none"> 海外事業拡大に向けた人的基盤の整備 |
|---|--|---|--|

CSR基本テーマ

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 コンプライアンスへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> 教育の機会を多様化し、継続して実施 相談窓口「ヘルプライン」の利用を促進 コンプライアンス体制のPDCAを構築 CSR調達の推進 | 2 有事の際の滞りない事業活動に向けた取り組み <ul style="list-style-type: none"> BCPの再構築(危機管理対策規程の見直しを含む) 協力会社を含む有事への対応 周辺地域への災害対策関連製品の提供 | 3 環境保全と社会的投資 <ul style="list-style-type: none"> 施工におけるCO₂削減の取り組み 環境保全活動への助成 | 4 教育・人材育成の実施 <ul style="list-style-type: none"> 企業情報管理および個人情報保護 社員、協力会社に対する研修制度の充実 |
| 5 現場のワークライフバランスへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> 業務モデルの改革による効率化の実現 後方支援の充実による現場業務量の低減 休暇制度の実効性の向上 | 6 ダイバーシティへの取り組み <ul style="list-style-type: none"> 再雇用制度の導入 育児時短制度の利用期間の延長 | 7 コミュニティへの参画および発展 <ul style="list-style-type: none"> ボランティア休暇制度の導入 地方自治体や地域などとの防災協定締結による地域への貢献 | 8 国際的な枠組みへの参画 <ul style="list-style-type: none"> 国連グローバル・コンパクト ケアリングカンパニースキーム(香港) |

CSR活動のPDCA



新菱冷熱の活動成果

CSRの取り組み項目を「重点課題 社会への新たな価値提供」「基本テーマおよびコーポレート・ガバナンス」のもとに設定しています。

ISO26000中核主題との対照							課題		
組織統治	人権	労働慣行	環境	公正な事業慣行	消費者課題	コミュニティ	重点課題 社会への新たな価値提供		
			●	●	●		1	BIM+サプライチェーンの業務モデル構築	3次元CAD[S-CAD]の活用による施工の合理化
		●	●	●					新たな「業務モデル」の構築
			●	●	●		2	ライフサイクルマネジメント(LCM)サービス	LCMサービス体制の整備
			●	●			3	省エネルギー技術、低炭素化技術への取り組み	エネルギー関連・低炭素化技術の研究開発と活用
			●	●					空気環境改善技術の研究開発と活用
			●	●					原子力関連:廃棄物処理・廃炉・除染への取り組み
		●	●			●	4	グローバルへの展開	海外事業の拡大に向けた人的基盤の構築
							基本テーマおよびコーポレート・ガバナンス		
●	●	●	●	●	●	●	ー	コーポレート・ガバナンス	内部統制、業務監査
●				●			1	コンプライアンスへの取り組み	コンプライアンス教育
	●	●							相談窓口「ヘルプライン」
●				●					反社会的勢力への対応
		●		●					CSR調達
●				●			2	有事の際の滞りない事業活動に向けた取り組み	情報セキュリティ管理
●				●					BCPの策定、推進
			●	●			3	環境保全と社会的投資	環境マネジメントシステム
			●						現場におけるCO ₂ 排出量削減の見える化
			●			●			車両排気ガス排出量の低減
			●	●	●				石綿・有害物質等の適正管理と処理
		●					4	教育・人材育成の実施	現場力向上と管理職のスキル向上策の推進
					●	●			トラブル情報の展開
		●			●		5	現場のワークライフバランスへの取り組み	業務モデル改革による効率化
		●			●				後方支援による現場業務量低減
		●							各種休暇制度の実効性向上
	●								「こころオンライン」
		●					6	ダイバーシティへの取り組み	女性社員の活躍促進施策
		●							経験豊かな社員の活躍促進制度
	●								障がい者雇用
						●	7	コミュニティへの参画および発展	地域社会とのかかわり
●	●	●	●	●	●	●	8	国際的な枠組みへの参画	国連グローバル・コンパクト
●	●	●	●	●	●	●			ケアリングカンパニースキーム

<自己評価による取り組みの達成度> ○：実施して成果が得られたもの △：実施したがさらに成果を上げる必要があるもの ×：実施しなかったもの

※2016年度(2015年10月1日～2016年9月30日)

2016年度の取り組み	2016年度の成果	達成度	参照ページ
BIMデータの集中作成拡大とBIMデータの有効活用による新たな業務モデルの構築	BIMデータの有効活用による業務モデルの構築推進	○	特集1 7-10
グループ会社と一体となったLCMサービス体制の強化継続	コミッションング、CFD、FM等の技術を融合したサービス体制の強化推進	○	
各種省エネルギー技術・低炭素化技術の開発・販売・導入を継続促進	ホルムアルデヒド除去システム・たばこ臭気除去装置の販売促進	○	
現地法人との技術交流・人的交流の促進継続	新菱フィリピンのエンジニア第2陣10名の日本での技術実習開始	○	36,38
内部統制システムの継続的な見直し	内部統制システムの継続的な運用	○	23
・海外対応ガイドラインの策定と展開 ・コンプライアンス事例集の作成 ・コンプライアンスに関するe-ラーニングの実施 ・独占禁止法研修の継続実施	・海外版ガイドラインの策定と海外営業所・現地法人の全役職員への遵守教育の実施(100%) ・海外汚職防止ガイドラインの運用開始 ・コンプライアンスに関するe-ラーニングの実施 ・独占禁止法研修の継続実施 ・国内グループ会社コンプライアンス連絡会の活動開始	○	25-26
情報セキュリティ教育の継続実施と効果の検証	・拠点・現場に対する情報セキュリティ監査実施 ・「企業情報管理規程」の改定	○	24
BCP計画の策定および訓練の実施	・事業継続計画(BCP)体制の再整備と強化 ・BCP総合訓練の実施	○	24
・環境マネジメントシステム ISO14001の継続運用 ・CO ₂ 排出削減量を、2015年度比5%増 ・環境配慮型車両の社有車採用率20% ・石綿・有害物質等の適正な除去、管理、処理の継続実施(100%実施)	・環境マネジメントシステム ISO14001の継続運用 ・CO ₂ 排出削減量2015年度比16%減 ・環境配慮型車両の社有車採用率22% ・石綿・有害物質等の適正な除去、管理、処理の継続実施(100%実施) ・生態系保全活動・啓発プログラム「環境リネッサンス活動」の全社展開	△	27-30
全社教育計画を踏まえた部署別教育計画書を策定し、事業部・支社単位による実効ある教育を推進	・部署ごとの特色ある教育の企画および展開 ・中堅以上社員の外部セミナー選択受講の開始	○	37-38
後方支援による現場業務量低減の推進	技術統括部・安全統括部による現場業務の後方支援開始	○	特集1 7-10
各種休暇制度の利用率向上に向けた、推進活動継続	・働き方改革の開始(長時間労働は正・ワークライフバランスの実現) ・施工現場でのノー残業デーの実施(モデル現場の抽出)	○	33-34
女性、高齢者を含むすべての社員の活躍を促すための制度および社内風土醸成のための施策の検討・実施	・両立支援制度の運用開始(カムバック制度、配偶者帯同転勤制度) ・経験豊かな社員の活躍のための人事制度の改定 ・女性社員活躍のための教育の実施(管理職研修、女性総合職キャリアデザイン研修) ・現地法人社員活躍のための日本での研修の継続実施 ・社内報等での継続的な情報発信	○	35-36
・生物多様性に関わる活動の検討と実施 ・事業部・支社独自の地域とのかかわり方の検討と実施推進	・事業部・支社独自のボランティア活動の展開 ・大学への講師派遣の継続実施	○	39-40
・グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン分科会、CBCC活動への参加取り組みの強化 ・新たな枠組みへの参画検討	グローバル・コンパクト・ネットワーク・ジャパン環境経営分科会への新規参加	○	3



組織統治

CSR宣言に則り、すべての事業活動の基盤となる透明性の高い経営と働きやすい企業風土の醸成に取り組むとともに、経営の透明性を確保し、迅速な意思決定を行うためのコーポレート・ガバナンス体制および内部統制のしくみを整えています。また、危機管理においては、平時からの対策を徹底することで、危機発生時においても、企業としての社会的責任を果たすための体制整備に努めています。

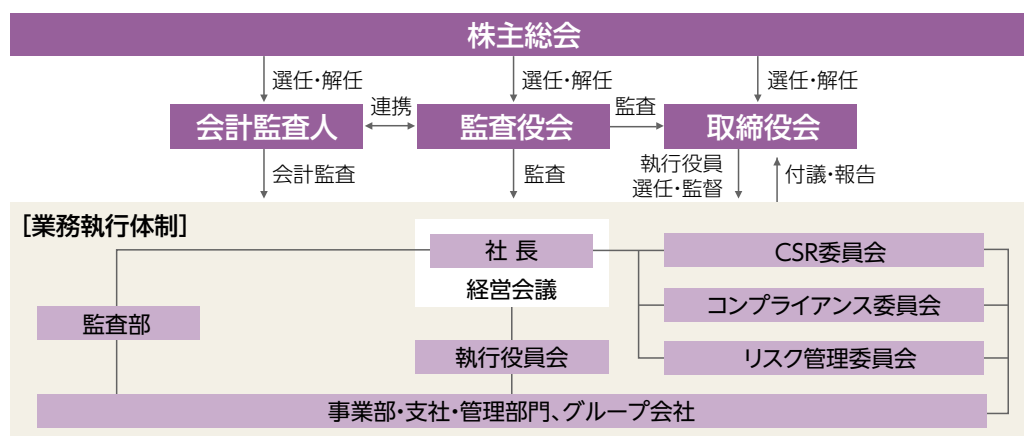
コーポレート・ガバナンス体制

取締役会では、会社法上規定される付議事項および取締役会規程で定めた付議基準・報告基準に基づく上程議案を審議します。経営会議では、取締役会への上程議案の審議に加えて、会社経営に関する重要事項を審議します。執行役員会では、執行役員による業務執行状況の報告と経営会議における決議事項の周知、経営会議審議事項の事前意見聴取などを行っています。監査部は、制度、組織業務活動の有効性および効率性、コンプライアンスの適

合性などを検証します。また、国内外の事業所だけでなく2013年からは工事現場の監査も実施しています。

コンプライアンス委員会では、委員会および各部署・グループ会社の統括責任者が連携をとり、企業倫理・法令遵守意識の向上と徹底を図るとともに、相談窓口「ヘルプライン」に寄せられた相談・通報に対する方針決定、是正指示も実施しています。

○コーポレート・ガバナンス体制



内部統制

会社法において内部統制システム構築が義務づけられて以降、新菱冷熱では、適宜その見直しを行い、業務遂行にお

ける適法性の確保と、合理性および効率性の充実に努めています。

新菱冷熱の「内部統制システム基本方針」概要（取締役会決議より抜粋）

1. 当社グループの役職員の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制
2. 取締役の職務の執行に関わる情報の保存及び管理に関する体制
3. 当社グループの損失の危険の管理に関する規程その他の体制
4. 当社グループの取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制
5. 当社及びグループ会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制
6. 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項
7. 当社グループの役職員またはこれらの者から報告を受けた者が当社監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制
8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

リスクマネジメント

リスク管理委員会

新菱冷熱では、経営に重大な影響を及ぼす可能性のある大型案件について、技術上・契約上などの重要リスクを抽出し、その対応策を協議するためのリスク管理委員会を定期的に開催しています。

情報セキュリティ管理体制

新菱冷熱では、お客様やお取引先の情報の適切な管理に努めています。2016年7月には「企業情報管理規程」を改定し、複雑化する情報セキュリティ管理に関する社内ルールを刷新しました。また最新のセキュリティ事故やその防止策の周知、定期的な社員教育など、啓発活動に積極的に取り組むとともに、主要事業所、現場事務所に対するセキュリティ監査を実施しています。

事業継続計画(BCP)体制の強化

新菱冷熱の「事業継続計画(BCP) 基本方針」

1. 役職員の安全確保を最優先し、速やかな支援を実施する。
2. 会社施設を早期に復旧し、会社機能の維持継続を図る。
3. 顧客の事業継続活動への支援として、当社施工中現場・竣工物件の復旧活動に協力する。
4. 地域社会の一員として、可能な範囲でのインフラ復旧、被災住民への支援を実施する。

○災害時の組織体制



事業継続計画(BCP)体制の再整備と強化

新菱冷熱は、東日本大震災や熊本地震での対応を踏まえ、2016年7月、「事業継続計画(BCP:Business Continuity Plan)」の策定と「危機管理対策規程」を改定し、有事における事業継続体制の強化と、定期訓練などの見直しを行いました。

BCP総合訓練の実施

2016年9月、新菱冷熱は首都直下地震を想定したBCP総合訓練を実施しました。ビル在館者の避難誘導訓練、社員の安否確認訓練、また社長を本部長とする災害対策本部への情報の集中と、災害対策本部から各組織への対応指示など、災害時の一連の初動対応を実践で確認しました。継続的な訓練を実施することでBCP体制の見直し改善を図ります。



災害対策本部訓練

BCP体制定着のための訓練の実施

BCP体制の定着のため、日頃から各種訓練を定期的に行っています。

○主な定期訓練および教育内容

訓練・教育内容	対象者
災害発生時の対応および拠点間連携体制確認訓練	災害対策本部要員
安否確認システムによる安否報告訓練	全従業員
施設・周辺インフラの状況確認訓練	本社復旧組織
災害時の対応確認訓練	自衛消防隊
BCPの概要説明、安否報告訓練、所属部の防災体制の周知教育	新入社員・異動者

有事に備えた対応

全社員への防災袋の配付に加え、災害用備蓄品の整備、本社ビルの非常用発電設備の設置、通信回線の冗長化(非常用衛星携帯電話の各拠点配備・インターネット回線の活用)、サーバーのクラウド化など、事業継続のための対応を整えています。

熊本地震への対応

新菱冷熱は、2016年4月に発生した熊本地方の震災に際し、発生後速やかに本社に災害対策本部を立ち上げ、社員・家族の安否確認と、お客様の被災状況の調査・復旧対応にあたりました。また社員および協力会社の皆様との連携により、延べ1万人が、お客様の事業継続へ向けたサポートに従事しました。



公正な 事業慣行

新菱グループが目指すのは、誠実公正かつ適切な経営を実現し、新菱グループに与えられた社会的責任を果たしていくことです。企業倫理・法令遵守を实践し、「さわやかな世界をつくる」企業として、すべてのステークホルダーの皆様から支持されるよう努めてまいります。

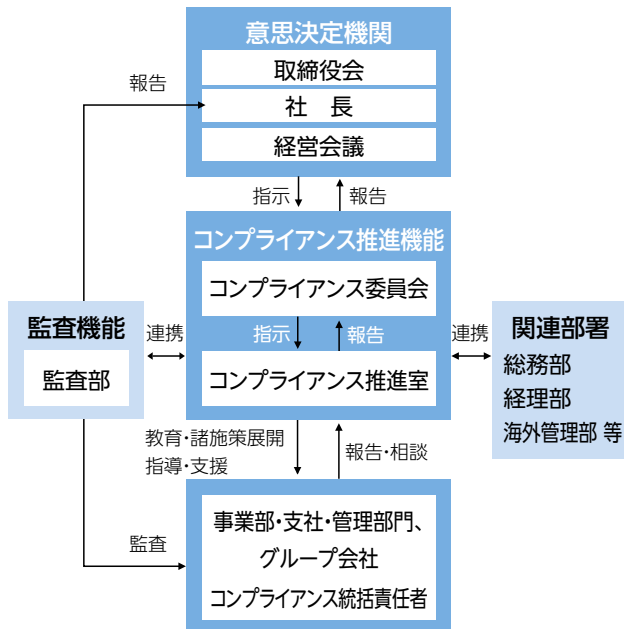
コンプライアンスの徹底

新菱グループは、コンプライアンスの徹底を経営における最重要課題と考えています。新菱グループの社是にある「正しからざることに与するな」を行動の原点に、グループの全役職員が法令遵守を实践してまいります。

コンプライアンス体制

グループ会社を含めたコンプライアンス体制を構築しています。新菱冷熱のコンプライアンス委員会とコンプライアンス推進室が中心となり、グループ体でのコンプライアンスの実践に取り組んでいます。

○コンプライアンス体制図



新菱グループ行動規範

新菱グループのすべての役職員は、社是および行動規範・行動基準により、コンプライアンスに関する基本的かつ共通の意識をもち、また会社に対する高い帰属意識のもとで、日常の業務において行動規範・行動基準を誠実に実践します。

新菱グループ行動規範

- 行動規範 1 お客様の立場にたってお客様の満足を追求します。
- 行動規範 2 株主様のために経営の効率化を追求します。
- 行動規範 3 家族にも誇れるような活気にあふれ、ゆとりのある職場にします。
- 行動規範 4 お取引先とともに、企業倫理・法令遵守を徹底し、公正・透明で自由な事業活動を行います。
- 行動規範 5 健全な社会の一員として、あるべき姿を絶えず追求します。
- 行動規範 6 グローバルな企業として、関係する国々の社会の発展に貢献します。

コンプライアンス ガイドライン

新菱グループの全役職員が守らなければならない基本原則である「新菱グループ コンプライアンス ガイドライン」は、社是、行動規範・行動基準を原点としたもので、日常業務を行ううえでの判断基準となる、「行動規範・行動基準に関する具体的な遵守事項」を定めています。また、新菱冷熱および国内グループ会社の全役職員がガイドライン教育を受講し、コンプライアンス遵守を誓約しています。



「新菱グループ コンプライアンス ガイドライン」

相談窓口「ヘルプライン」の設置

法令違反や不正の防止、またそれらの兆候を早期発見して是正することを目的として、コンプライアンス相談窓口「ヘルプライン」を設置しています。新菱冷熱の業務に関わるすべての方に利用していただくため、周知に努めています。

独占禁止法遵守徹底への取り組み

新菱冷熱は、北陸新幹線の設備工事の入札に関し、2015年10月9日に、公正取引委員会から排除措置命令を受けたことに伴い、2016年6月23日、国土交通省から

建設業法第28条第3項の規定に基づく30日間の営業停止処分を命ぜられました。今回の処分を厳粛かつ真摯に受け止め、全役職員を挙げて、法令遵守の徹底と再発防止策の実施に全力で努めてまいります。

独占禁止法研修の継続実施

2016年1月、独占禁止法研修を開催し国内の全営業職が受講しました。毎年継続的に研修を実施することで、独占禁止法の遵守徹底への浸透・理解を進めてまいります。

独占禁止法遵守のための10カ条

「新菱グループ コンプライアンス ガイドライン」において、独占禁止法を遵守徹底するために、日常業務において注意すべき事項を10カ条にまとめ、役職員による定期的な遵守確認を実施しています。

「別冊 関係法令の解説」

「新菱グループ コンプライアンス ガイドライン」の別冊として「関係法令の解説(独占禁止法・建設業法等)」を作成し、新菱冷熱の全役職員とグループ会社の営業職を中心に配付しています。独占禁止法や関連する法律を体系立ててまとめた解説書として、教育に活用するものです。

さまざまなコンプライアンス教育の実施

新菱冷熱では、さまざまなコンプライアンス教育を継続的に実施しています。コンプライアンス委員会主催の教育、各部独自のカリキュラムなど、幅広く実施しており、全役職員がつねにコンプライアンスを意識しながら業務に取り組んでいます。

○2016年度コンプライアンス教育の対象者と教育内容

対象者	教育内容
全役職員	コンプライアンスe-ラーニング
全役職員	独占禁止法の遵守徹底確認
国内営業職	独占禁止法研修
新入社員	2015年新入社員2次教育
新入社員	2016年新入社員1次教育
昇格者	等級に応じたコンプライアンス教育

反社会的勢力への対応

「反社会的勢力の威嚇には、絶対に屈しません。毅然として、勇気をもって排除します。」という行動規範・行動基準を遵守し、内部統制の一環として取り組んでいます。また、

「新菱コンプライアンスNews」の定期配信

新菱冷熱では、全社員向けに「新菱コンプライアンスNews」を定期的にメール配信しています。毎号、アンケートを実施し、社員が気軽にコンプライアンスに対する意見を述べたり相談ができるしくみも整えています。

新菱グループコンプライアンス連絡会

国内グループ会社による「新菱グループコンプライアンス連絡会」を定期的に開催しています。連絡会では、グループでコンプライアンスの認識を一つにするための情報共有や、各社活動の情報交換を行っています。また、グループ共通のコンプライアンス教育の企画・実施など、教育面での連携も図っています。

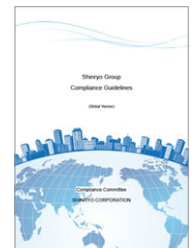


新菱グループコンプライアンス連絡会

海外営業所・現地法人への対応

海外版ガイドラインの策定

2016年1月、グローバルに活躍する日本人社員および海外営業所と現地法人の役職員を対象とした「コンプライアンス ガイドライン(グローバルバージョン)」を策定しました。各国・地域の法令の遵守、人権を含む各種の国際規範の尊重はもとより、文化や慣習などに配慮した事業活動を推進するために守らなければならない基本原則を定めています。また2016年8月までに、海外営業所・現地法人のすべての役職員がガイドライン教育を受講し、コンプライアンス遵守を誓約しました。



「コンプライアンス ガイドライン(グローバルバージョン)」

海外汚職防止ガイドラインの運用開始

新菱冷熱は2016年10月、海外業務において公務員等に接する際の遵守事項・遵守体制を明記した「海外における汚職防止に関するガイドライン」を策定し、運用を開始しました。ガイドラインには、汚職防止に関する各国共通の考え方のほか、国・地域の個別の事情に応じた対処方法を記しています。



環境への取り組み

新菱冷熱では、2001年5月に環境マネジメントシステム ISO14001の認証を取得しました。業務を通じて省エネルギー提案、CO₂排出量の削減、石綿対策、産業廃棄物の処理・リサイクル、フロン類の回収などを行い、環境への適正な対応に取り組んでいます。

環境マネジメントシステム ISO14001

環境に対する基本理念・基本方針

○基本理念

新菱冷熱は、環境に関わる企業として「さわやかな世界をつくる」ことを使命とし、建築設備を通じて環境保全に努めてきた。これからも企業活動を通じて環境負荷の低減に積極的に取り組み、地球環境の保全に貢献する。

○基本方針

新菱冷熱は、建築設備を提供する企業として社会に貢献すると共に、緑豊かな地球環境に融和し、循環型社会の構築に寄与するため、次のことを実行し、これを広く一般に公開する。

1. 環境保全活動を推進するため、環境マネジメントシステムを構築し、運用する。
2. 当社の事業活動の中で環境に与える影響を的確に捉え、環境マネジメントシステムの継続的改善を実施し、汚染の予防に努める。
3. 当社の環境側面に関連する法令や条例等の規制並びに当社が同意する協定等の要求事項を順守する。
4. 技術的・経済的に可能な範囲で環境目的及び目標を設定し、環境保全活動を通じて定期的に見直しを行う。
5. 環境保全活動を通じて、次の項目については重点的に取り組む。
 - 施工時の生産性向上活動を推進し、温室効果ガス排出を抑制する。
 - 環境に配慮した活動を展開し、運用時の温室効果ガス排出抑制に貢献する。
 - 建設副産物の3R*を推進し、施工時における環境保全に努める。
6. 当社の事業活動に従事する全ての人に環境方針を周知すると共に、環境教育や啓蒙活動により、環境保全についての意識の向上を図る。

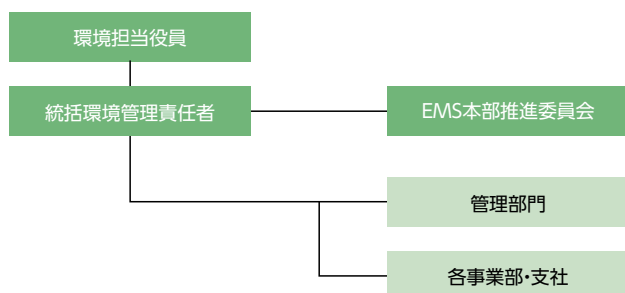
※3R：リデュース (Reduce)、リユース (Reuse)、リサイクル (Recycle)

推進体制

新菱冷熱は、創業以来「さわやかな世界をつくる」ことを使命として、空気・水・熱・エネルギーを取り扱う過程で生じる地球環境への影響を最小限にとどめつつ、快適な環境を創造することを目指して活動してきました。

こうした環境保全の基本理念に基づき、地球環境負荷の低減に積極的に取り組んでいます。

○環境管理体制



VOICE



**環境担当
副社長執行役員
千田 公男**

新菱冷熱は「環境を提供すること」を生業とする、「環境」とは切っても切れない会社です。人間に対する環境、その快適性、生産設備に対する高精度な環境、有害な物質を除去した健全な環境を提供する技術開発にも力を注いで

きており、社会が「環境」について、これほど関心をもつ以前から、「環境」を大切にすることを目指しています。

新菱冷熱は、環境マネジメントシステムとして、①省エネルギーへの配慮、②施工段階の生産性向上による環境負荷の低減、③3Rに力を入れています。建設リサイクル法、フロン排出抑制法などの法律にきちんと対応すること、建設工事で生じる廃棄物やエネルギー消費量を少なくすることはもちろんのこと、生産性の飛躍的な向上が、環境への負荷低減に有効だと考えています。

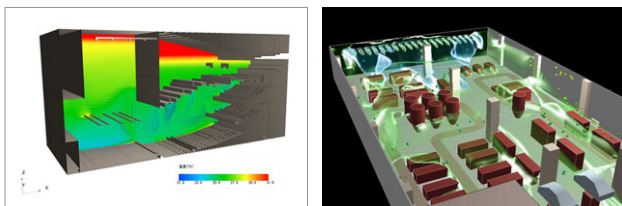
環境への取り組みは、答えがすぐに出ないものです。10年、20年、50年後に向けた積み重ねです。会社としても次の世代に確実に引き継いでいけるよう、日々、取り組んでいます。

CO₂排出量削減、省資源化への取り組み

CO₂排出量削減、省資源化のために、次のような取り組みを推進しています。

営業・設計業務

新菱冷熱は、気流やエネルギー消費量などを数値流体シミュレーションによって求めることで、お客様への省エネルギーシステムや機器の提案を積極的に行っています。また、設備システムのエネルギー消費量の見える化技術によって省エネルギー化をサポートし、CO₂排出量の低減に努めています。



数値流体シミュレーションによる省エネルギー技術の提案

施工業務

BIM活用、工法改善により、建設現場での生産性向上に努め、CO₂排出量の削減を図っています。また、3Rに積極的に取り組み、廃棄物の低減やリサイクルに努めるなど、環境に配慮した材料、工法、施工管理の計画・実施を推進しています。



機材搬入



バルブ類通い箱による搬入



各社とのBIMを使った納まり検討

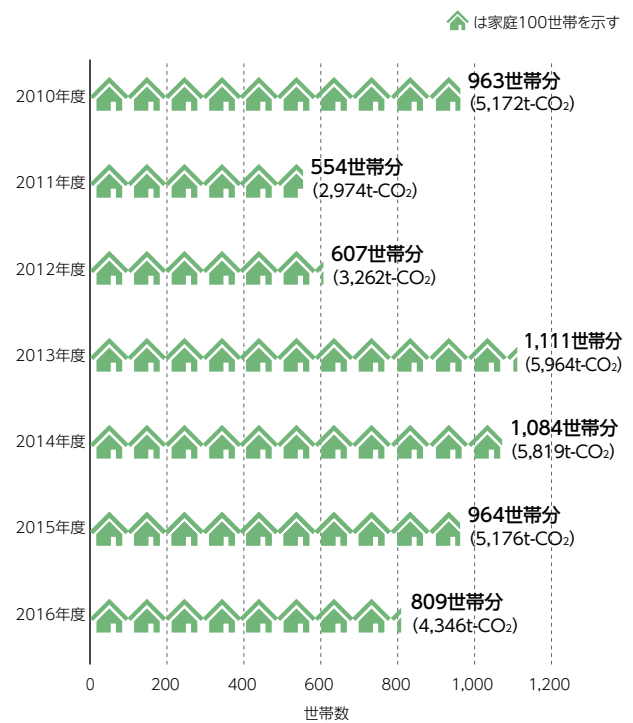


タブレット端末を使った墨だし

環境コミュニケーションプロジェクト

2008年から現場におけるCO₂削減量の見える化活動を実施しています。現場でのCO₂削減量を家庭1世帯当たりのCO₂排出量に換算して表しています。

CO₂削減量の見える化



家庭からのCO₂排出量:5,370kg-CO₂/世帯・年
出典:全国地球温暖化防止活動推進センター、家庭からの二酸化炭素排出量(2013年度)

Web会議システムの導入

2008年のTV会議システム導入に続き、2014年6月からは、全社にWeb会議システムを導入しました。インターネット接続環境とパソコン、タブレット端末またはスマートフォンがあれば、社員は世界中のどこでも、お互いの表情や共通の資料を見ながら会議ができることになり、各拠点の担当者間のミーティングや現場ソリューションに威力を発揮します。このICT技術の活用で、移動や出張によるCO₂排出量、コスト、時間を削減しています。



Web会議の様子

2016年度の環境目標および活動実績

2015年10月～2016年9月の活動実績は以下のとおりです。

担当業務	環境目標	活動内容	項目	目標値	実績値
設計業務	環境配慮設計による温室効果ガスの排出抑制	新築、改修物件への設計提案による運用時のCO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 削減提案実施率	50%以上	56.2%
			CO ₂ 削減率	30%以上	29.5%
施工業務および製造業務	現場における生産性向上活動の推進	現場におけるCO ₂ 排出量の削減(生産性向上活動の実施)	CO ₂ 削減量原単位	90kg-CO ₂ /百万円以上	73.4kg-CO ₂ /百万円以上
	現場における3Rの推進	産業廃棄物のリサイクルの推進	産業廃棄物リサイクル率	80%以上	78.4%

石綿除去作業への取り組み

石綿障害予防規則の制定以降、社内の石綿除去作業を標準化するため、事業部・支社ごとに石綿管理担当者を任命し、全担当者による定例会議や除去作業のガイドライン策定を行ってきました。

石綿除去を伴う工事においては、受注時にデータベースを立ち上げ、分析結果や「石綿施工サイクル」運用記録の一元管理を行っています。

新菱冷熱は、石綿施工サイクルの運用を通じて、除去作業に関わる社員ならびに作業員への健康障害を予防するとともに、大気中への石綿飛散防止に全力で取り組んでいます。

石綿除去作業事例の共有・活用

石綿管理担当者会議において、石綿除去作業を担当した現場社員による施工例を報告書として提出してもらい、全社で情報共有し活用しています。



施工例



石綿健康診断の受診徹底

過去に石綿にばく露したり、石綿の取り扱い・除去作業に従事した経験のある社員に対する、石綿健康診断の受診を徹底しています。

石綿パトロールの実施

安全統括部・技術統括部および石綿管理担当者による現場パトロールを定期的に行い、保護具や作業手順、廃棄物の適正処理などの確認・指導を行っています。

パトロール時には、官庁届出書や産業廃棄物の委託契約書の確認をあわせて行い、法令が適正に遵守されているか、確認しています。



計画書・提出書類の確認



保護具・作業状況の確認



掲示物・立入措置の確認



保護具を装着した作業員

協力会社への展開

協力会社の皆様による安全衛生協議会の労務安全研修会では、石綿に関する講義や石綿取り扱い作業従事者特別教育を行っています。



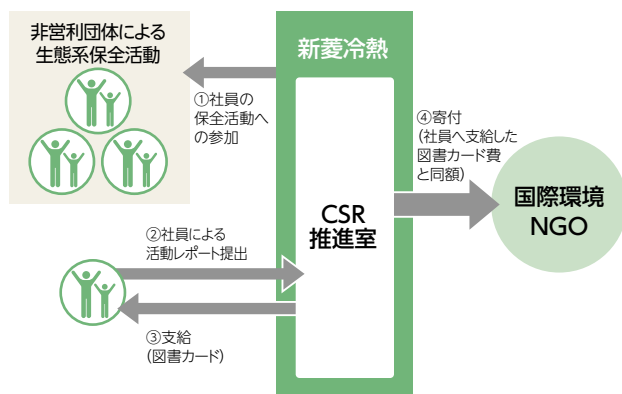
生態系保全活動・啓発プログラム「環境ルネッサンス活動」

新菱冷熱は、生態系保全の重要性について社員の認知度を向上させることを目的とした啓発プログラム「環境ルネッサンス活動」を行っています。

プログラムでは、生態系保全や環境教育に関わる活動を行った社員に図書カードを支給し、環境に関する書籍の購入を補助し、生態系保全への理解と継続的活動への意欲向上を目指します。

また、この活動は、1年間に支給した図書カード費の同額を、国際環境NGOに寄付するマッチングギフト制度になっています。

○環境ルネッサンス活動のしくみ



○社員が参加した団体(一部)

主催団体名称	活動名称
神奈川県川崎市 環境局環境総合研究所	多摩川河口干潟の生きもの観察会
新宿区立環境学習情報センター	セミの羽化観察会
神奈川県自然環境保全センター	アメリカザリガニ駆除活動
神奈川県自然環境保全センター	救護動物特別公開見学
兵庫ウスイロヒョウモンドキを守る会	高丸山(ハチ高原)夏のチョウ観察会
公益財団法人 日本科学技術振興財団ほか	青少年のための科学の祭典2015「チョウを通して自然保護の大切さを学ぼう」
新さわやかな環境づくり但馬地域行動計画推進協議会	但馬北部の自然を考える報告会「シカから希少植物など自然環境をどう守るか?」
兵庫県加古川市環境部環境政策課	兵庫県加古川市「チョウの観察ウォーキング」
NPO法人 穴塚の自然と歴史の会	月例テーマ観察会「天王池」
ミュージアムパーク茨城県自然博物館	木の葉の化石をしらべよう
NPO法人 リトルターン・プロジェクト	コアジサシ営巣地整備活動
谷津干潟自然観察センター	野鳥観察会
横浜自然観察の森 友の会(鳥のくらし発見隊)	「みんなでバードウォッチング」(森の野鳥の観察会)
横浜市横浜自然観察の森	森の作業体験「炭焼き体験」

活動レポートの紹介

アメリカザリガニ駆除活動・救護動物特別公開見学(神奈川県自然環境保全センター)

燃料エネルギー事業部 設計部 設計三課 主任

菊永 博秀

外来種であるアメリカザリガニを楽しみながら釣ることで駆除するという取り組みに参加し、一度崩れた生態系を元に戻すことの困難さを感じました。また、人間の生活の影響で傷つき、保護された野生動物の特別公開も見学しました。野生動物とのかかわりを正しく学ぶ必要性に気づきました。



アメリカザリガニ釣りの様子

野鳥観察会(谷津干潟自然観察センター)

管理本部 経理部 経理課 主査

岡田 直幸

家族と一緒に、千葉県習志野市の谷津干潟での野鳥観察会に参加しました。ラムサール条約登録湿地でもある谷津干潟の重要性が分かり、人間と野鳥の共存という環境意識が高まりました。NPOによる鳥の工作もあり、子どもたちも楽しみながら自然について学ぶことができました。



コアジサシの工作

月例テーマ観察会「天王池」(NPO法人 穴塚の自然と歴史の会)

技術統括本部 中央研究所 主査

山田 育弘

日常生活で自然にふれあう機会が少ないと感じ、茨城県つくば市吉瀬にある天王池周辺の里山の観察会に参加しました。専門家の詳しい解説もあって、とても有意義なものとなりました。里山の清掃活動にもぜひ参加したいと思います。



観察会の様子

セミの羽化観察会(新宿区立環境学習情報センター)

管理本部 経理部 部長

森岡 茂夫

新宿中央公園で、セミのいろいろな羽化の状態を、公園内を移動しながら観察しました。都会の真ん中で、セミの羽化以外にも、日頃気がつかない昆虫を見ることができ、「自然に対する意識のもち方で、いつもの風景も変わって見えるね」と、家族で話しました。



セミの羽化の様子の絵日記



消費者 課題

新菱冷熱は、品質マネジメントシステム ISO9001の認証を取得し、お客様に満足いただけるよう品質向上に努めています。また、新菱冷熱における現場の安全衛生管理には、創業以来不動の「安全衛生基本方針」を掲げ、これを全社員の行動原理とし、協力会社の皆様が、安全な設備と最適な環境の中で作業できるよう取り組んでいます。

品質マネジメントシステム ISO9001

全社品質方針

あらん限りの誠実を尽くし
顧客に信頼される品質を提供する

新菱冷熱は、外部認証機関による審査を受け、国内の各事業部・支社において、品質マネジメントシステム ISO9001の認証を取得しています。これまでも、品質マネジメントシステムの運用によって、営業・設計・施工管理に関するプロセスの継続的改善を図り、品質の確保とお客様の満足度の向上につなげてきました。

今後もお客様のニーズに的確に応え、高品質な設備とサービスを提供できるよう、品質管理体制の充実に努めていきます。

品質管理への取り組み

新菱冷熱では、品質マネジメントシステムの根幹を「施工サイクル」と考え、各施工現場の品質管理に取り組んでいます。

「施工サイクル」とは、着工時の検討会、施工中の各段階および竣工前の検査の実施によって、品質要求事項への

適合を確認し、施工品質に関わる課題の発見と対策を講じるしくみのことです。「施工サイクル」を適切に実行することで、着工時からお客様への引渡し後のフォローまで、お客様のニーズにお応えしています。さらに施工技術面においては、施工基準やトラブル事例などの教育とともに、有資格者の計画的かつ適正な配置を行い、施工品質の確保に努めています。

「新菱フォーラム」の開催

「新菱フォーラム」には総合フォーラムとセミナーがあり、総合フォーラムは、海外も含めた全社をTV会議システムでつなぎ、技術・設計・営業職の交流と技術情報の共有を行っています。また、セミナーは、社員の専門的技術力の向上と情報交換を目的としたディスカッション形式の会です。2016年度には、総合フォーラムとセミナーをそれぞれ2回ずつ開催し、技術力の強化を図っています。



新菱フォーラム

安全衛生への取り組み

安全衛生基本方針

安全なくして作業なし 安全なくして企業なし

新菱冷熱は創業時からの安全衛生基本方針のもと、安全を何事にも最優先とし、労働災害を防止すべく、全役職員が一丸となって、安全衛生活動に取り組んできました。震災復興事業や2020年東京オリンピック・パラリンピックによる仕事量の増加、それに伴う労働力不足を補うために生じる、経験の浅い作業員の増加や高齢化などの課題解決に向けて、さらなる安全衛生活動が必要だと考えています。

2016年全社安全衛生運動指針

危険感受性を高め
潜在する危険有害要因を特定し 重篤災害を防止しよう

新菱冷熱は毎年、全社安全衛生運動指針を定め、災害防止に努めています。2016年の全社安全衛生運動指針では、社員・作業員が自ら危険感受性を磨き、建築現場に潜在する危険有害要因を特定し、その危険要因への対策を講じられる力を身に付けることこそが、労働災害防止の第一歩であることを強調しています。

協力会社の皆様との連携(安全衛生協議会)

1971年より、新菱冷熱の本社および各支社において、協力会社の皆様による安全衛生協議会と共に、①安全衛生に関する教育、②災害事故の原因調査および対策、③パトロールによる教育および指導、④労働法令その他安全衛生に関する広報活動などを周知することによる、安全意識の向上を図っています。

毎回約200名が集まる労務安全研修会では、「作業員の健康管理」「足場に関する法改正とその対応」「ヒューマンエラーと災害の防止」といったテーマの研修が行われ、研修

には新菱冷熱の安全統括部も協力しています。

また、新菱冷熱の安全統括部が講師となり、各種安全衛生の教育を行い、資格取得を後押しする連携活動も行っています。その他、優れた有資格者による作業指揮により、作業所全体の安全意識のレベルアップを図ることも進めています。安全体感教育では、危険感受性を高めることを目指すとともに、「自分の現場では絶対に事故を起こさない」という安全意識の向上を図っています。



安全衛生推進大会
(安全衛生協議会との共催)



安全衛生協議会月例パトロール



安全帯のぶら下がり体験



玉掛け時の挟まれ体験

VOICE



技術統括本部 安全統括部
部長
小林 光雄

新菱冷熱では、創業以来不動の安全衛生基本方針「安全なくして作業なし 安全なくして企業なし」をスローガンに、安全がすべてに優先することを、全社員が日々確認・実行しながら、建設工事を進めています。2016年は「重篤災害の絶滅」を最重点目標とし、あわせて、墜落・転落災害防止、感電災害防止についても全社を挙げて取り組みました。災害情報の周知徹底や再発防止のための全現場一斉総点検、協力会社の皆様による安全衛生協議会と連携した現場安全パトロールや労務管理のレベルアップ教育などを、徹底的に繰り返し実施した結果、9月末現在で、重篤災害ゼロ、休業4日以上災害を昨年比3分の1に減少させることができました。引き続き緊張を切らさず、現場災害ゼロと、協力会社の皆様を含めた安全衛生の向上に努めてまいります。

CSR調達

お取引先、とくに協力会社の皆様との協力・連携により、CSRへの取り組みを推進しています。これまでに「CSR調達

ガイドライン」を定め、現在500社にのぼる企業の皆様にガイドライン遵守のご理解をお願いしています。

新菱CSR調達ガイドライン

- 1. 公正かつ健全な企業活動**
自由な競争を阻害する行為や不正な競争などを行わず、公正かつ健全な企業活動を推進することをお願いします。
- 2. 品質・安全性および事業継続**
有害物質の管理や製品の安全等に関わる法令を遵守し、製品の使用者や消費者の健康、安全の確保に努めてください。また、事業継続計画への自主的取り組みをお願いします。
- 3. 人権・労働・安全衛生への配慮**
基本的人権を尊重し、労働環境や安全衛生に配慮した事業活動推進をお願いします。
- 4. 環境への配慮**
生物多様性を含む環境保全および環境マネジメントを確実に実施し、地球環境に配慮した事業活動に取り組むようお願いします。
- 5. 法令遵守**
各国・地域の法令ならびに国際条約や社会規範を遵守し、企業倫理に基づいた事業活動を行うようお願いします。
- 6. 情報の管理**
コンピューターネットワークの脅威に対する防御策を講じるとともに、事業に関わる秘密情報、個人情報に適切に管理・保護し、それらを不正・不当に利用したり漏洩しないようお願いします。さらに顧客・第三者の機密情報の漏洩防止に努めてください。



人権／労働慣行

新菱冷熱では、グローバル企業として各国においても人権を尊重しているほか、行動規範の一つに「家族にも誇れるような活気にあふれ、ゆとりのある職場」の確保を掲げ、さまざまな取り組みを行っています。

働き方改革

「働き方改革」の意義

労働集約型産業である建設業では、長時間労働が大きな問題になっています。2016年4月、新菱冷熱は長時間労働の解決に向けた「働き方改革」を開始しました。この取り組みは「働き方改革担当役員」を中心に、業務を見直し、生産性の高い「働き方」を実現し、長時間労働が常態化した労働慣行の是正とワークライフバランスの実現を目指すものです。また効率的な働き方を追求する一方で、新菱冷熱が60年間築き上げてきた技術力の維持とさらなる向上も必須です。多様な人材が活躍する職場の実現を目指したダイバーシティの取り組みとあわせ、人材育成にも引き続き注力していきます。

ノー残業デーの実施

新菱冷熱では、働き方改革の第一歩として、2016年4月から国内の全事業所ならびに全国約90カ所の施工現場を「モデル現場」として選定し、毎週水曜日に「ノー残業デー」を実施しています。また業務上、水曜日に実施できなかった場合は、別の日に振り替えるなどして、100%実施を目標に取り組んでいます。

施工現場では、現場全体での工程管理や緊急対応など、自社だけではスケジュール調整が難しい実情の中、それぞれのモデル現場が工夫しながらノー残業デーを実践しています。



ノー残業デー推進ポスター

モデル現場での取り組み

- お客様や現場作業員の方にノー残業デー実施を相談し、ご理解とご協力をいただき進めている。
- 毎日1時間かかる現場ミーティングを、より効率的に進行することで20分に短縮した。
- スケジュールデータを共有し、ノー残業デーが実施できなかった場合の振り替え調整や休日取得に活用している。

働き方 意識改革教育

2016年9月、部長職以上の役職員を対象に、小室淑恵様(株式会社ワーク・ライフバランス)による講義「経営戦略としての働き方改革への挑戦」を開催しました。働き方改革が、日本社会の課題である長時間労働・少子高齢化の解決方法の一つであること、また、いま求められる戦略とは、男女共に・短時間で効率良く・多様な人材が活躍できる魅力ある職場づくりを目指す改革であることを、ご講義いただきました。



小室淑恵様

VOICE



働き方改革担当 常務執行役員 阿部 靖則

新菱冷熱の働き方改革は、①長時間労働の是正、②ワークライフバランスの実現、この二つです。建設業の労働時間が長いことは大きな課題です。この大きな課題をこのままにしていれば、近い将来、社会の変化に対応していけなくなると考えています。そうならないためには課題を解決し、目標の実現に向けて一つひとつ改革を進めていく必要があります。

2016年度は働き方改革をスタートさせ、週1日ノー残業デーを決め、実行することから始めました。2017年度には、働き方や業務の見直しに着手し、社員一人ひとりにとって魅力ある職場をつくり、企業として生産性向上にもつなげていきたいと考えています。

ワークライフバランスへの取り組み

両立支援制度の整備

社員が介護や出産・育児と仕事を両立し、意欲をもって長期的に活躍できるための制度を整えています。

配偶者帯同転勤制度

社員の配偶者が転勤になった場合、転勤先にある当社事業所での勤務を希望し、かつ事業所での受け入れが可能な場合には異動できる制度です。

カムバック制度

①子の育児、②家族の介護、③配偶者の転勤が理由で退職した勤続3年以上の総合職社員について、原則として退職後5年以内の復職を認める制度です。

各種休暇取得

社員が心身共に健康で、お互いをサポートしながら休暇を取得しやすい職場環境をつくるため、プロジェクト休暇、アニバーサリー休暇、リフレッシュ休暇などの各種休暇取得の促進制度を導入しています。



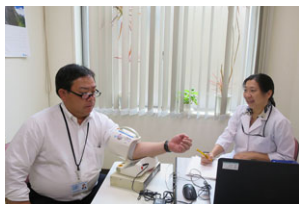
リフレッシュ休暇取得対象(2016年度 30年勤続表彰者)

社員の心身の健康

健康管理

健康相談窓口の整備

本社診療室では、常駐の看護師による日々のケアと産業医による週1回の相談窓口を設けています。また、心身の不安・疑問を、電話やメールで専門家に相談できる「24時間健康相談サービス」なども実施し、社員が安心して働くための環境を整えています。



本社診療室での看護師への健康相談

ウォーキングキャンペーンの参加

2009年から管工業健康保険組合主催の「ウォーキングキャンペーン」に、会社全体で参加しています。1日1万歩を目標に、日頃の運動不足解消と健康増進に取り組んでいます。

○キャンペーン参加率と1万歩以上の達成率

	2014年 春	2014年 秋	2015年 春	2015年 秋	2016年 春
参加率	98.9%	99.0%	98.8%	98.6%	98.1%
達成率	65.5%	65.3%	68.3%	68.4%	66.7%

禁煙支援の取り組み

禁煙治療開始から3カ月以上の禁煙を達成した社員に対し、治療費の全額補助を行っています。2015年から始めた取り組みで、現在6名が禁煙に成功しました。

メンタルヘルス

ストレスチェックの実施

労働安全衛生法の一部を改正する法律の施行に伴い、働きやすい職場づくりと社員のストレスへの気づきを促し、こころの健康を保つため、2016年度よりストレスチェックを実施し、全役職員が受検しました。ストレスを感じ、医師による面談を希望する社員に対しては、医師の面談・アドバイスを受ける機会を提供するほか、職場環境の改善を図っていきます。



ストレス診断

メンタルヘルス産業医への相談

2016年4月から、本社診療室において、メンタルヘルス専門の産業医による月1回の相談を開始しました。

メンタルヘルス教育の実施

社員の心身の健康管理と保持・増進を目的とし、管理職を中心とした「メンタルヘルス教育」を実施しています。2016年度は、新任管理職など、合計60名が受講しました。

ダイバーシティへの取り組み

柔軟で力強い会社をつくるには、経験豊かな社員や女性社員、介護者を抱えている社員、外国人社員など、多様な人材が活躍できる社内風土の形成が不可欠です。新菱冷熱では、多様な人材が能力を発揮し働き続けるために、制度の充実や柔軟な勤務形態の導入を進めています。

経験豊かな社員の活躍

やりがいと存在感のある活躍の場の提供

新菱冷熱では、これまで会社を支えてきた経験豊かな社員に60歳定年後も引き続き活躍してもらうため、能力に応じて活躍できる制度・環境づくりを推進しています。2014年度には、重要な業務を担当する「嘱託S」を制度化し、やりがいとそれに見合う評価基準を整えました。2015年10月からは、技術職だけでなく営業や事務、研究開発職も制度の対象に追加しました。また、最長65歳までの再雇用に加え、最長70歳までグループ会社で働くことができる制度も整えました。

2016年4月からは、より存在感と責任感をもって働いてもらうため、定年前の役職や等級によらず現在の本人の能力や職務に見合った給与・賞与制度に改定しました。

○能力に応じた職務

区分	職能要件	職務例
嘱託S	会社の重要な業務において、その業務の責任者として職務を遂行し、会社の業績に十分な貢献ができる者	・会社を代表する現場・プロジェクトの責任者 ・現地法人社長または副社長 ・極めて高度な業務の専門家
嘱託I	豊富な経験と優れた専門的能力を有し、難易度の高い業務の責任者として職務を遂行できる者	・大規模あるいは技術的難易度の高い現場の現場代理人 ・難易度の高いプロジェクトの責任者
嘱託II	業務の責任者として職務を遂行できる者	・現場代理人 ・プロジェクトの責任者
嘱託III	上記以外の者	上記以外の者

ライフプランセミナーの開催

定年後の働き方や生活設計を早い時期から意識することで、長い視点で働き続けてもらえるよう、50歳と59歳を対象としたライフプランセミナーを毎年定期的に開催しています。退職金や定年後の再雇用制度などの会社の人事制度説明とあわせて、社会保険労務士・ファイナンシャルプランナーを講師に迎え、専門的な見地から、定年後の社会保険制度、定年に備えた資金管理方法など将来の生

活を具体的にイメージできるようなカリキュラムを準備しています。

女性社員の活躍

新菱冷熱は、多様な人材確保による組織力強化を目指し、女性が無理なく働き続けられる環境の構築と、女性の活躍推進に取り組んでいます。

女性活躍推進法に基づく情報公開

女性活躍推進法に基づく、情報および行動計画を、厚生労働省の「女性の活躍・両立支援総合サイト」で公表しています。

○新菱グループ連結での主な実績数値

女性労働者の割合	16.2%
管理職に占める女性労働者の割合	2.3%

経団連 女性活躍のための自主行動計画の掲載

日本経済団体連合会のウェブサイトでは「女性の役員・管理職登用等に関する自主行動計画」を公開しています。

定量的目標

- ・2020年に女性管理職数2倍を目指す。
- ・女性総合職の人数を5年以内に2倍、10年以内に4倍を目指し、女性総合職の採用を強化する。

定性的目標

- ・在宅勤務制度、所定労働時間短縮の期間延長制度などを導入し、働きやすい環境を整える。
- ・女性総合職を対象としたキャリア開発・リーダーシップ向上などの集合研修を実施し、意識の改革を進める。
- ・女性活用のための制度や取り組みを社内に周知し、女性の活躍推進のための社内風土づくりに努める。

管理職向けダイバーシティ教育

2016年9月、女性総合職を部下にもつ管理職32名を対象に「女性総合職育成のための管理職セミナー」を行いました。これは女性総合職を育成するための具体的マネジメント方法（キャリア形成、ライフイベントとの両立支援など）の習得を目指したものです。セミナーでは、自社の現状と課題や、それらを通じた女性社員の育成やマネジメントの手法を学びました。また、最後に部下への応援メッセージを作成しました。



管理職向けセミナーの様子

VOICE



首都圏事業部 営業一部 営業一課
課長
浅賀 保元

私の部下は、3歳の子どもをもち時短勤務で働いていますが、時間制約がある中でも最大限の力が発揮できる働き方・仕事の仕方を、課の全員で遠慮することなく話し合い、日々の業務を進めています。新菱冷熱では、ワーキングマザーがまだ少ないのが現状です。管理職として、彼女たちが意欲をもって働くことができる環境づくりや育成方法をバックアップしていきたいと考えています。

女性総合職向けキャリアデザイン教育

2016年9月、24名の若手女性総合職を対象に「女性総合職対象のキャリアデザインセミナー」を行いました。本セミナーは、女性総合職が意欲的に働き続けるための意識づけを行い、ライフイベントとの両立を図るための方法を学ぶことを目的としたものです。外部講師による講義や参加者同士のディスカッションを通し、自らを振り返ることで、あらためて5年後、10年後の働き方や将来の仕事への目標を考える機会となりました。



女性総合職向けセミナーの様子

外国人の活躍

新菱冷熱の社是の一つ「学歴年令を問わない 実力ある者が指揮をとれ」は、海外では「学歴」「年令」に、「nationality（国籍）」を加えて英訳しています。各海外拠点において、社是は「Company Philosophy」として国内同様に行動の原点となっています。グローバル企業として発展していくためには、国籍・人種の垣根のない、幅広い人材の活躍が必要であると考えています。

社は英語版

Company Philosophy

- Be fair and straightforward
(正しからざることに与するな)
- Do your best with all your effort
(あらん限りの誠実を尽くせ)
- Have leadership, irrespective of education, age, or nationality.
(学歴年令国籍を問わない 実力ある者が指揮をとれ)

フィリピン人エンジニア第2陣来日

建設業界の人材不足は、これからの深刻な問題です。その対応の一つとして新菱冷熱は、2015年から外国人エンジニアの日本での実習を開始しました。2016年度は、新菱フィリピンから新たに10名の技術者が来日しました。この取り組みを通じ、国内外で一緒に働く仲間を増やしていきたいと考えています。



来日した新菱フィリピンのエンジニア

海外現地スタッフ日本招聘プログラム

新菱グループのグローバル化に向けた取り組みの一環として、現地法人のマネージャー（管理職）を対象とした研修を日本で行っています。2016年6月には4日間の研修を行い、9カ国から19名が参加しました。本社および中央研究所の見学のほか、日本人管理職も加わったマネジメント研修などを実施しました。



研修参加者の集合写真



グループワークの様子



教育／ 人材育成

新菱冷熱は、創業以来「人は最大の財産」と考えています。社員のもつ技術・知識・経験こそが、新菱冷熱の経営資源です。社員の力を最大限に引き出すための多様な教育プログラムを準備し、すべての年代・役職の社員が、つねにチャレンジ精神旺盛で、柔軟な発想をもって仕事ができるよう、人材育成を進めています。

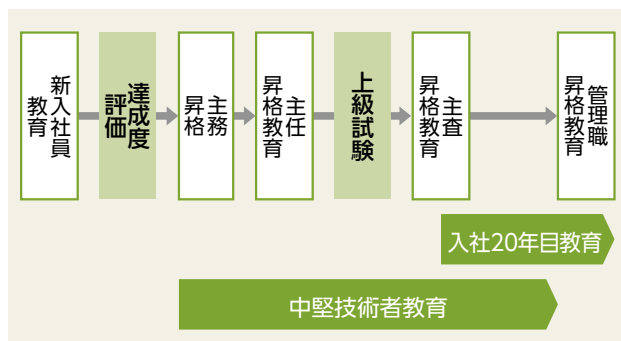
多様な教育の実施

教育研修体系

全社教育(必須教育)

社員の役割の認識と、知識・技術の向上のため、各階層・年次別に、各種集合教育と社内試験を必須教育として定めています。また、中堅以上の技術職社員を対象に、「中堅技術者教育」を実施しています。現場代理人の心得や、現場における予算管理の実践的な手法を学ぶプログラムで、現場力強化を目的としています。

○階層別・年次別集合教育



全社教育(選択教育)

意識改革、スキルアップを目的とし、中堅社員以上を対象に、職責・階層に応じた外部セミナーを選択受講する教育を実施しています。

経営幹部としての知識やスキルの習得を目的とした研修に参加した社員からは、「中長期での戦略的な考え方や財務数値分析など、経営側の視点で考える手法を学ぶことができた。担当部での計数計画に活用したい」「一緒に参加した他業種の方との交流を通じ、建設業界との違いをあらためて認識できた」などの感想がありました。

部署別教育

実務教育を「部署別教育」として体系立てて計画・実施し、「全社教育」との連携により教育効果の向上を図っています。

○2016年度の主な部署別教育

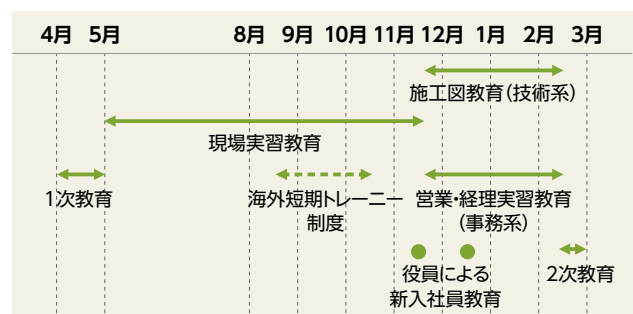
対象職種	教育概要
技術職	・担当現場以外の施工検討会議への参加 ・メーカーの新製品勉強会 ・トラブル事例を教材とした類似トラブルの発生防止教育
営業職	業界動向や戦略的な営業手法勉強会
事務職	階層別の担当業務説明発表会
共通	管理職以外の社員を対象とした等級・職種を超えた討論会

新入社員教育

充実した教育カリキュラム

1年間にわたる新入社員教育では、配属直後から、自信をもって働くことができる基礎づくりのため、技術系・事務系それぞれに対して最適なカリキュラムを準備しています。

○2016年度の新入社員教育



研修寮「耕風寮」

約1年間の「耕風寮」での全寮制教育は、創業当時から続く新菱冷熱の伝統です。人材育成の場として、共に生活し学ぶことにより、同期の絆を深めます。



耕風寮



コミュニケーションスペース



新菱グループ合同新入社員教育

新菱グループは、国内グループ会社合同の新入社員教育を実施しています。新菱グループには建設業のほか、人材派遣・システム開発・ホテルなど、さまざまな業種の会社がありますが、合同新入社員教育では「業種の垣根を越えて協力することで、どのような事業展開ができるのか」をテーマに話し合い、自由な発想の生み出し方とグループが支え合う大切さを学びます。



中央研究所での合同教育

海外研修制度

新菱冷熱は、1972年から業界に先駆けて海外事業に着手し、アジア・中東を中心に営業所・現地法人を開設し、事業を展開してきました。近年では、グローバルに活躍できる人材を多く育成するため、さまざまな教育プログラムを設けています。

海外実務派遣制度

国内で実務を経験した入社4～8年目の社員を対象とした制度です。公募により選ばれた社員が、1～3年間かけて、海外実務を経験します。2015年は5名、2016年は3名が参加しています。海外事業を担う若い力を、実務を通して育成します。

東北支社 主務 田畑 彰悟
(新菱インドネシア 海外実務派遣)

新入社員 海外短期トレーニー制度

新入社員全員を海外の施工現場に、数名単位で派遣します。現地に1週間滞在し、現場実務を経験することで、海外勤務や生活に対する理解を深め、グローバルな感覚と海外で働く意欲をもった人材を育成します。

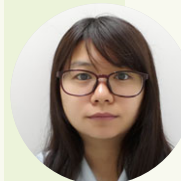


ベトナムでの現場研修



ベトナムでの現地スタッフとの打ち合わせ

VOICE



新入社員(タイ新菱現場での短期トレーニー参加) 堺 優佳理

タイのコージェネレーションプラントでの研修は、建物や規模も大きく、驚きの連続でした。現地スタッフとの会話はすべて英語だったため、最初は苦労しましたが、絵などを用いて根気強く説明してくれたおかげで、研修終盤には会話にも慣れてきました。研修により、海外で働くイメージがはっきりしたことで、将来に向け技術と語学の両方を積極的に学ぶという目標ができました。

子ども参観日

2016年8月、本社において「子ども参観日2016」を開催し、全国から子どもたちとその家族、総勢90名が参加しました。この取り組みは、社員の家族に「お父さん」「お母さん」の仕事を知ってもらい理解を得ることで、社員が誇りをもって働けるよう2011年から開催しているイベントで、今回が6回目になります。

子どもたちは「仕事紹介スタンプラリー」として営業・設計・技術・資材・総務の仕事を順番に回り、職場の雰囲気を感じながら、各部の役割について理解を深めました。子どもたちからは「お父さんの机を見ることができてうれし

かった」「CADの操作は難しかった」「名刺交換が楽しかった」といった感想がありました。



CADの操作体験



社員との名刺交換



コミュニティ への参画 および発展

新菱冷熱は、社会の持続的発展に貢献する企業として、地域や文化を大切にする活動を積極的に実施、推奨しています。中でも地域とのかかわりにおいては、目の前の小さな活動の積み重ねが大切だと考えています。

社会とのかかわり

大学での非常勤講師活動

新菱冷熱では、大学や大学院で社員が非常勤講師を務める機会をいただき、社員が建築設備系や機械・工学システム系などの授業を担当しています。次代を担う学生の教育に携わることで、技術と業界の発展に貢献したいと考えています。

○2016年度の講義実績

大学名	担当講義
学校法人東京理科大学	空調設備特論
学校法人名城大学	建築設備工学2
学校法人早稲田大学	建築環境設備製図
国立大学法人熊本大学	建築設備計画学
国立大学法人筑波技術大学	システム工学特別講義
国立大学法人筑波技術大学	エコ環境システム

高校生インターンシップの受け入れ

2015年12月、横浜支社において、神奈川県立 藤沢工科高等学校 住環境系2年生のインターンシップ(就業体験)を受け入れました。3日間にわたるインターンシップでは、現場での熱源機械室や屋上冷却塔、地域冷暖房設備の見学のほか、現場作業の体験実習や、お客様の要望に応える設計プランの作成実習などを行いました。インターンシップを通じて、建設技術を学ぶ若い世代が建設業界への理解と興味を深めてくれることを願っています。



設計プランの実習

サマースクール「空気をデザインする技術を見学しよう」の開催

2016年8月、中央研究所において、理工系分野に興味をもつ女子学生向けの見学会を開催し、計21名の方に参加いただきました。これは、内閣府男女共同参画局が推進する「理工チャレンジ(リコチャレ)」に賛同し、理工系の仕事の面白さを伝え、将来の勉強や仕事を考えるときに役立つようにと企画したもので、今年が2回目の開催になります。新菱冷熱の女性社員が、研究内容などを説明したほか、参加者による実験装置の操作体験も実施しました。また、見学会後のティータイムでは女性社員が、理工系に進んだ理由や仕事の魅力について話をしました。参加した皆さんからは「将来の参考になった」「女性社員と気軽に話せ、働くことへのイメージが明確になった」などの感想をいただきました。



新菱冷熱サマースクール

VOICE



授業の様子

名古屋支社 設計部 部長補 田上 賢一

名城大学 理工学部 建築学科の選択必須科目「建築設備工学2」で、137名の学生に講義を行っています。建築設備に関わる実務レベルの内容を中心に、教科書には書かれていないような内容も織り交ぜ、私が30数年間に実務で得た経験や知見を生かした講義を心掛けています。昨今の地球温暖化防止に役立つ省エネルギー技術はもちろんのこと、ただ聞くだけの講義ではなく、学生が自ら手を動かす、設備設計業務を実習するカリキュラムも取り入れました。学生は真面目で積極性があり、想定外の質問に驚かされたりしながら、とても楽しく講義を進めています。講義を通じて建築設備の重要性を理解してもらい、ここから世界を背負って立つエンジニアが育ってくれることを願いながら、教鞭を執っています。

地域とのかかわり

四谷清掃ボランティア活動(本社)

新宿区四谷二丁目町会青年部の呼びかけに賛同し、2004年から毎月1回、四谷地区の「ポイ捨て防止キャンペーン」への参加を続けています。スタッフ部門の社員数名が毎月交替で、青年部や地域の皆様と一緒に、四谷二丁目周辺の歩道や植え込みにあるタバコの吸い殻・空き缶などを拾って歩きます。また毎年4月には、新入社員の研修としても参加しています。お世話になっている四谷地域への感謝の気持ちと環境に携わる企業としての自覚をもって、活動を継続していきます。

「四谷花いっぱい運動」への協力(本社)

新宿区立四谷小学校の3年生が育てた花苗のプランターを学校周辺の企業や商店に設置し、四谷地区を花でいっぱいにする取り組み「四谷花いっぱい運動」に、2011年度から継続して協力しています。花を楽しむと同時に、毎日、下校時に水やりを訪れる児童たちと交流をもつ良い機会となっています。



新菱冷熱の本社玄関に置かれたプランター

高松倉庫周辺の清掃ボランティア活動 (機器設備事業部)

東京都練馬区高松にある新菱冷熱の倉庫周辺の清掃活動を、毎週水曜日の朝礼後に実施しています。倉庫が住宅街にあることから、日頃お世話になっている地域の皆様への感謝の気持ちで始めた活動ですが、協力会社の皆様にもご協力いただき、8年間継続して実施しています。

文化・芸術への支援

新菱冷熱では、各種団体等への賛助会員登録・協賛等を通して、文化・芸術への支援活動を行っています。2016年度の賛助会員登録を行っている音楽関連団体は右のとおりです。また2016年5月には、「ウィーン・フォルクスオーパー2016年日本公演」に特別協賛しました。

これらの支援活動により、美しく豊かな文化・芸術の発展に少しでも貢献できれば幸いです。

野島公園周辺の清掃ボランティア活動(横浜支社)

2016年5月の休日、横浜市にある野島公園において、横浜支社安全衛生協議会が主催する、協力会社の社員とご家族を交えた家族会で、バーベキューを行い、親睦を深めました。ゲームなどの催し物の後、会場とした公園周辺の清掃ボランティアを行いました。毎年定期的に開催している家族会ですが、清掃ボランティアは2015年に続き2回目です。2016年は、参加者113名が揃いのグリーンのウェアを着て活動し、環境保全への意識と活動への一体感がさらに強くなったと感じました。



清掃ボランティア活動

広瀬川沿いの清掃ボランティア(東北支社)

2015年10月、仙台市を流れる広瀬川沿いの清掃活動を行いました。東北支社の恒例行事である「芋煮会」の開催に合わせて毎年実施しているもので、芋煮会会場までの5キロの道のりを、社員の家族を含めた約30名がゴミを拾って歩きました。



広瀬川沿いの清掃活動と芋煮会



音楽関連の賛助会員登録一覧(団体名・五十音順)

NHK交響楽団／オーケストラ・アンサンブル金沢／大阪交響楽団／大阪フィルハーモニー交響楽団／神奈川フィルハーモニー管弦楽団／関西フィルハーモニー管弦楽団／九州交響楽団／札幌交響楽団／新国立劇場／新日本フィルハーモニー交響楽団／仙台フィルハーモニー管弦楽団／セントラル愛知交響楽団／東京交響楽団／東京都交響楽団／東京二期会／東京フィルハーモニー交響楽団／名古屋フィルハーモニー交響楽団／日本オペラ振興会／日本センチュリー交響楽団／日本フィルハーモニー交響楽団／日本舞台芸術振興会／広島交響楽団／読売日本交響楽団／ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン音楽祭2016

グループ会社のCSR活動

新菱グループでは、国内・海外のグループ各社が積極的にCSR活動を展開しています。主力事業における社会の課題解決に向けた取り組みや、ボランティアやチャリティを通じた地域貢献など、さまざまな形で社会への責任を果たしています。

環境負荷低減に関する取り組み

新菱テクニカルサービス リニューアル工事での省エネ改善提案

CO₂排出量削減に貢献するため、お客様に積極的に省エネルギー改善のご提案をしています。保守業務を通じて蓄積したお客様のエネルギーデータをもとに、設備のダウンサイジングや消費効率が高い機器への入れ替えなど、最適な提案ができるよう努めています。



省エネ型冷凍機
やポンプの
リニューアル施工

大栄電気 太陽光発電装置の設置による環境負荷低減

CO₂排出量削減に貢献する太陽光発電装置の設置工事に積極的に取り組んでいます。2010～2016年度には、延べ358,000m²の太陽光発電装置の設置に携わり、2016年度には約3万tのCO₂が削減できました。これは約215万本のスギのCO₂吸収量に相当します。



大規模太陽光発電装置

秋田キャッスルホテル 食品廃棄物の減量活動

秋田市が提唱する「食う～ベエタイム」に賛同しています。これは、宴会開始30分と最後の10分は自席で料理をおいしく食べ切ろうという活動で、お客様と共に食品廃棄物の減量に取り組んでいます。



秋田市ごみ減
量イメージ
キャラクター
「エコアちゃん」
宴会会場POP

震災復興に関する取り組み

新菱工業 東日本大震災復興への継続的な取り組み

東日本大震災から5年が経過し、復興応急対策から恒久対策へと変わりつつある中、宮城県を中心に、ライフラインの確保、豪雨対策などのためのポンプ場の建設・改修に継続的に参画しています。



宮城県名取市
関上雨水ポンプ場災害復旧工事

ダイバーシティに関する取り組み

グローバルスタッフ 外国人派遣スタッフの積極的な採用

2016年6月、日本での就業を希望する外国人留学生を対象とした「第19回グローバル人材就職・転職説明会」に参加し、10数名を派遣スタッフとして登録しました。日本に訪れる多くの外国人のための通訳やデパートでの接客などで幅広く活躍しています。



グローバル人材就職・転職説明会

リスクマネジメントに関する取り組み

城口研究所 有事に備えた対応

有事の際、迅速に会社機能を継続し、お客様の給排水設備の復旧支援ができるよう、連絡体制の整備・技術員の確保・備蓄品の充実などに取り組んでいます。



災害用備蓄品

シスプロ 情報セキュリティ体制の強化

BIMの普及に伴い、お客様から高度なセキュリティ対策が求められる中、情報セキュリティポリシーに関する社内標準を見直し、体制を強化しました。また社員へのセキュリティ教育の充実も図っています。



情報セキュリティ教育の実施

労働慣行改善に関する取り組み

ルプロ 3Dレーザー計測活用による作業安全確保

大空間改修工事前の現地調査に、ルプロが作成した3Dレーザー計測による3Dモデルが活用されています。この技術により、従来の足場を組んだ高所作業での現地調査が簡素化され、作業員の安全確保と仮設材の削減に貢献しています。



3Dレーザー計測による3Dモデル

海外での取り組み

新菱香港 聴覚障がい者支援ボランティア

2016年4月、聴覚障害者協会主催の『『ホリデーファーム』日帰り旅行』にボランティアとして参加しました。社員6名が参加し、お菓子づくり体験を通して、障がいのある子どもたちとふれあいました。



お菓子づくり体験ボランティア

STS香港 チャリティーレースへの参加

2015年12月、香港ボーイズ&ガールズクラブ協会が主催した香港最大規模のチャリティーレース「Team Challenge 36」に参加しました。参加費は恵まれない子どもたちの育成支援に活用されています。



「Team Challenge 36」参加社員

台湾新菱 コンプライアンス教育の実施

2016年5～6月、コンプライアンス教育を実施しました。英文の新菱グループガイドラインを中文に翻訳し教育することで、社員への理解浸透を徹底させました。



コンプライアンス教育

新菱フィリピン 若手エンジニアへの教育

若手エンジニアの空調設計・施工技術のスキルアップを目的とした技術教育を2カ月に1度、継続的に実施し、人材の育成に取り組んでいます。



若手エンジニアに対するダクト設計教育

タイ新菱 施工現場における女性活躍

男性が多い建設現場において、スタッフの10%に当たる女性社員が、さまざまな立場で活躍しています。うち2名はセーフティオフィサー(安全管理担当)として現場巡回、危険予知活動などの業務を行っています。



女性セーフティオフィサーによる現場安全活動

新菱マレーシア 国際地域冷房フォーラムへの参加

2016年5月にシンガポールにて開催された「国際地域冷房フォーラム」に参加しました。東南アジアにおける省エネ技術として期待されている、最新地域冷房技術の習得と意見交換を行いました。



国際地域冷房フォーラムに参加

新菱シンガポール 女性管理職の活躍

新菱シンガポールでは、女性社員の管理職登用を積極的に推進しています。2015年新たに2名の女性管理職が誕生し、現在4名が各職場で先頭に立って活躍しています。



新任女性管理職の昇格式
(左:トレーシーさん、右:カレンさん)

新菱インドネシア 日本人街の縁日祭への参加

ジャカルタ・リトル東京ブロックMの活性化を目的とした縁日祭に、CSRスポンサーとして参加しました。前日の街の清掃活動から始まり、当日は法被姿でみこしを担ぎ、地域の方々との交流を楽しみました。



日本人街の縁日祭

新菱ベトナム 「第3回ベトナム ハノイ植樹」への参加

公益財団法人イオン環境財団が主催する、ハノイ市西部のバ・ヴィ国立公園における植樹活動に参加しました。参加した社員からは、「微力ですが環境保全に貢献できて大変うれしかった」などの感想が寄せられました。



ハノイ植樹活動に参加



〒160-8510 東京都新宿区四谷二丁目4番地
(03) 3357-2151 (大代表)
<https://www.shinryo.com/>

